

平成 27 年度（2015 年度）

豊中市 食育推進計画年次報告書



えがおも
おいしい
おかずだね!!



今日の食事が、
明日のチカラ。

豊中市
Toyonaka City

■本報告書について

平成 25 年(2013 年)3 月、豊中市食育推進計画(平成 20 年(2008 年)3 月策定)の後継計画として第 2 期豊中市食育推進計画が策定されました。

本書は、食育に関する平成 27 年度(2015 年度)の市内の取り組み等についてまとめたものです。

第 1 章は、豊中市内で行われた特徴的な取り組みと題して、各取り組みの具体的な内容とコラムを掲載しています。

第 2 章は、豊中市内で実施された、食育に関する各事業について掲載しています。食育の視点で見た各事業の考察と、今後の方向性を見ていただくことができます。

第 3 章は、食育推進貸し出しグッズを掲載しています。必要なグッズがあれば是非ご利用ください。

豊中市食育推進計画のシンボルマークとキャッチフレーズについて

「市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができることをめざす」
豊中市食育推進計画の実現を図り、市民のみなさまに計画を身近なものと感じていただくために募集をしました。
一般の部、児童の部から選ばれた作品です。(応募総数1,109作品)



シンボルマーク一般の部
松浦 知恵子さんの作品



シンボルマーク児童の部
新田小学校
上村 梨花さんの作品

今日の食事が、
明日のチカラ。

キャッチフレーズ一般の部
榎 寛子さんの作品

えがおも おいしい
おかずだね!!

キャッチフレーズ児童の部
南桜塚小学校
東 千咲季さんの作品

■ 豊中市食育推進計画年次報告書 目次

I. 平成 27 年度（2015 年度）の特徴的な取り組み -1-

新学校給食センター「走井学校給食センター」の取り組み…………… -2-

豊中エコレシピコンテスト…………… -7-

子育て支援センター「手づくりおやつ講座」、レシピ集「親子で簡単クッキング」 -13-

コラム① 食の安全安心こどもセミナー

～夏休み自由研究 食品のふしぎを調べてみよう！～……………-17-

コラム② 「おすすめ！わが店のヘルシーメニュー2015」人気コンテスト…………… -18-

II. 各事業の進行状況 -19-

1. 基本目標別索引……………-20-

2. 所管別索引……………-21-

3. 平成 27 年度 食育関連事業取り組み一覧…………… -23-

III. その他（食育関連の情報提供等） -69-

食育推進貸出グッズ一覧……………-70-

I. 平成 27 年度（2015 年度）の特徴的な取り組み



新学校給食センター

「走井学校給食センター」の取り組み



＜基本目標と基本方針＞

基本目標－Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

基本方針－b 少年・青年期における食の自立に向けた支援

13 給食センター食育イベント

＜対象世代区分と関連する世代別目標＞

- ☐ 妊娠期
- ☒ 幼年期(0～5 歳) ☆いろいろな食材を食べながら食べ物大切さも学ぼう
- ☒ 少年期(6～14 歳) ☆食生活に関する正しい知識や情報を収集できるようになろう
- ☐ 青年期(15～24 歳)
- ☒ 壮年期(25～44 歳) ☆食生活について情報を正しく理解し活用しよう
- ☐ 中年期(45～64 歳)
- ☐ 高年期(65 歳～)

＜取り組み一覧掲載内容＞

○所管： 学校給食課

○内容： 平成 27 年 4 月より新学校給食センター「走井学校給食センター」が稼働。
幼年期の子どもと保護者に給食センターでの施設見学、また食育の取り組みでの学校給食の大切さと、環境部から食品ロス削減の意識を高めてもらう講座を行いました。

○実績： パワーポイントを使用し、給食センターでの工夫した食育の取り組みを説明。給食の試食。環境部から絵本の読み聞かせ等を行いました。

1. 目 的

学校給食課では、子どもたちの健康を第一に考え、必要な栄養素を給食で摂取してもらい、自分の食生活を考える機会を提供できるよう、さまざまな取り組みを行い、見たり、味わったり、感じてもらって楽しんでもらえる給食を心がけています。

走井学校給食センターは、安心、安全なおいしい給食を提供し、また学校給食に関する情報を発信する機能を備えた新学校給食センターとして、学校給食の大切さや、食品ロス削減の意識が高まるような取り組みを行っています。

2. 所 管 課

学校給食課

3. 内 容

<走井学校給食センター稼働開始>

平成 27 年 4 月より、新学校給食センター「走井学校給食センター」による給食調理が始まりました。副食（おかず）がこれまでの 2 品から 3 品になり、また、和・洋・中などの多彩な給食を提供することで、子どもたちに必要な栄養素を、よりバランスよく摂取できるようにしました。

地産地消

新米が収穫されてから在庫がなくなるまでは豊中産及び能勢産のお米を使用しています。



食の循環にも寄与

とよっぴー（給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥）で作った市内農作物を給食で使用しています。

～安心・安全な給食の提供～

- 食品添加物の少ないものや国産の食材を選んでいきます。
- 半製品・加工品などは材料のはっきりしたものを使用しています。
 - ・食材の原産国、製造工程やアレルギーを確認しています。
- 手作り料理を心掛けています。
 - ・和風メニューのダシには昆布、削り節、煮干しを使用しています。
 - ・カレーのルーや、からあげなどは手作りしています。



<知って・わかって学校給食（施設見学・試食等）>

平成 28 年 3 月 8 日（火）走井学校給食センターにて、初の食育イベント「知って・わかって学校給食」を開催しました。未就学児とその保護者を対象に、給食についての色々な事を「知って・わかって」いただくことを目的としました。

内容：○走井学校給食センター施設見学

○体験コーナー（実物の調理器具を触って、その重みや感触を体験）

○パワーポイントを使用しての食育講座「知ってわかって学校給食」

○読み聞かせ「きょうのきゅうしょくなーにかな」

○試食・アンケート

「黒糖パン・にらたまスープ・鶏肉のバーベキューソースかけ・三食和え」



施設見学

見学通路では、実際に給食を作っている様子を窓から見ていただきました。



読み聞かせ「きょうのきゅうしょくなーにかな」

環境部職員による、食べ物を大切にする心を育む読み聞かせで、子どもたちも集中して聞き入っていました。

<第 10 回とよっぴー祭り>

学校給食で出た残菜や、厨芥類等を使って作られている「とよっぴー」に関するお祭りの場で、給食センターで行っている食育の取り組みなどのパネル展示や、学校給食センターの食器・食缶の展示、また実際に試食をしてもらうことなどを通して、市民に学校給食課として残菜を減らすための取り組みを PR し、学校給食への理解を深めてもらうことを目的として出展しました。

日時：平成 27 年 10 月 17 日（土）10：00～14：00

場所：緑と食品のリサイクルプラザ

内容：○空芯菜と春雨の地産地消スープの試食

○展示→パネル（給食センターの仕事・取り組みなどについて）、食器・食缶など

○中学校給食冊子配架

○体験コーナー（試食終了後）→釜体験（配食など）、食材重さ体験（玉ねぎ 20 kg を想定）

○白衣を着用しての記念撮影

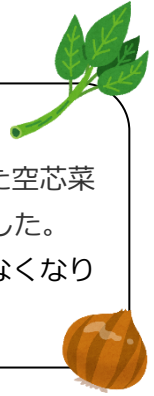
○アンケート

～ とよっぴー祭りの様子 ～



空芯菜と春雨の地産地消スープ

地元生産者の方から、とよっぴーで育てた空芯菜と玉ねぎを提供いただきスープを作りました。スープは大好評で、215食が1時間半でなくなりました。



模擬調理体験

学校給食センターで使用している白衣やエプロンを着た子ども達が大きなスパテラ（大きなしゃもじ形の調理器具）を持っている姿はとても可愛く、多くの方が記念撮影をされていました。



パネル展示

学校給食センターで使用している食缶や食器の展示・紹介パネルにも多くの方が立ち止まってくださり、興味をもって見ていただくことができました。

<その他食育の取り組み>

○毎年1月の学校給食週間では、特色ある献立を取り入れたり、保健所保健医療課と連携した小学生メニューコンテストの受賞作品を年間の献立に取り入れています。

○給食センターでは調理員が実際に学校へ赴き、「給食と一緒に」という取り組みを行っています。子どもたちに、調理員の思いを伝えたり、一緒に給食を食べることなどを通して、給食の意味や、成長期の子もたちが自分の適量を知り、残さず少しでも多く食べてもらえるよう毎日使用する人参の一部を、星形☆やハート型♡に切り抜き「ラッキーキャロット」として給食に入れることで、子どもたちに楽しみながら給食を食べてもらう取り組みを行っています。



4. まとめ

新学校給食センターの施設見学や食育イベントを通じて、子どもたちやその保護者に、学校給食の大切さや、食生活の大切さ、食べ残しを減らすことについて考えていただくことができました。

「知って・わかって学校給食」では、職員が給食を作っているところを実際に見てもらい、試食してもらうことで、学校給食に興味・関心を持っていただきやすくなり、試食後に行ったアンケートの結果内容も好評で、学校給食への理解を深めてもらえたことがわかりました。また、学校給食課からのアプローチだけでなく、環境部と連携することで、食べ物大切さを食品ロスの観点からもお伝えすることができました。

今後も、新しい給食センターを活かした食育や、毎日の給食を通じて、食べることの大切さや、食生活を見直す機会を提供していきたいと思います。



豊中エコレシピコンテスト



＜基本目標と基本方針＞

基本目標－Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう

基本方針－b 環境教育・環境学習の促進

＜対象世代区分と関連する世代別目標＞

- ☐ 妊娠期
- ☐ 幼年期(0～5 歳)
- ☒ 少年期(6～14 歳) ☆食の大切さ、調理の方法を学ぼう
- ☒ 青年期(15～24 歳) ☆食べ物の大切さを考えよう
- ☒ 壮年期(25～44 歳) ☆食生活について情報を正しく理解し活用しよう
- ☒ 中年期(45～64 歳) ☆食育を伝えよう、広げよう
- ☒ 高年期(65 歳～) ☆食に関わる経験を次世代に伝えよう

＜取り組み一覧掲載内容＞

- 所管 : 減量推進課
- 内容 : 食品ロス削減に向け、環境に配慮した調理方法や食材を無駄なく使ったエコなレシピを大々的に募集し、書類審査にて 7 作品を選考し、最終審査(実食審査)で各賞を決定しました。
- 実績 : 応募数 111 件。

1. 目 的

家庭での食品ロスは、1 年間 1 人あたり、約 15 キログラム、60 食分と言われています。（食品ロスは、食べ残し、食材の食べられる部分まで捨ててしまうこと、期限切れでの廃棄等で発生します）

市では「豊中エコレシピコンテスト」を開催して、「もったいない」を減らし、ごみ減量や省エネにつなげることを目的としました。

2. 所 管 課

減量推進課

3. 内 容

<募集について>

○募集期間：平成 27 年 9 月 1 日(火)から 10 月 14 日(水)必着

○応募資格：豊中市在住・在勤・在学の人 ※個人・グループいずれも可

○募集内容：食品ごみ減量につながるレシピで、次の（１）（２）（３）全ての条件を満たすもの。

（１）準備を含め 60 分以内に完成するもの。

（２）2 人分で概ね 1,000 円程度のもの

（３）試食審査で再現が可能なもの。

○応募方法：応募用紙に記入の上、豊中市環境部減量推進課へ郵送

○主催：豊中市

○共催：大阪ガス(株) (株)太鼓亭 豊中地域栄養士会 トゥデイ 梅花高等学校 (株)阪食（現：(株)阪急オアシス）（50 音順）

豊中市教育委員会 豊中市農業委員会 豊中市上下水道局

<各賞について>

○グランプリ、準グランプリ各 1 作品、特別賞 2 作品 他

○抽選で参加賞 100 人（組）に豊中市指定ごみ袋

<審査について>

○一次審査：平成 27 年 10 月 15 日（木）から平成 27 年 10 月 30 日（金）

減量推進課職員による書類審査を実施し、8 作品を最終審査へ選考

○最終審査：平成 27 年 11 月 21 日（土）14 時～16 時

梅花高等学校調理室にて実際に調理し、審査員の試食審査により各賞決定



試食の調理の様子



試食審査の様子

○最終審査結果

★グランプリ★

「みんなでワイワイ♪エコパエリア」 和光ともこさん（団体名 SMILE 編集部）



【エコなポイント】

★とにかく冷蔵庫の余りものを使います。（買い物に行かない！）お米は洗わずそのまま使い（水を使わない）、野菜は皮ごと使います（ごみ減量）。
★炊飯器は使わずお鍋ひとつで時短クッキング。

【審査員講評】

・調理後のごみが少なく、味も濃くなく、おいしかった。
・アレンジ・応用が効くメニュー。
・簡単に短時間で調理可能。
・缶づめも上手に使用し、防災用レシピとしても活用できそうである。

★準グランプリ★

「ごみゼロランチ BOX でピクニック」 松浦みさきさん



【エコなポイント】

★使い道に困りがちな粉チーズをケチャップライスに加えた「おにぎらず」と、栄養豊富な出がらしの茶葉を使った卵焼きをつめたお弁当です。
★お弁当を持って外に出れば部屋の電気等も節約できます。

【審査員講評】

・見た目が楽しく、皮つき野菜やお茶の出がらしを使うのは良いアイデアだった。
・レンジ・フライパン等の熱源の使い分けが良く、省エネに配慮されていた。

★特別賞★

「ポーノイタリアン しいたけ&ちくわ」そうめん生地の椎茸と竹輪のピザ・椎茸と竹輪のエスカルゴ風
光武厚子さん（団体名 チーム MT）



【エコなポイント】

- ★台所に眠っているそうめんや余りがちなちくわの使い切りレシピ。
- ★しいたけの石づきやキャベツの軸も使っています。

★特別賞★

「根菜とエビのかき揚げ」 須本聡美さん



【エコなポイント】

- ★大根、ニンジン、サツマイモは皮つきのまま使っています。
- ★エビの殻（カルシウムたっぷり）、出し殻昆布も使います。

★入賞★

「エコ大根餅」
井上美音子さん



【エコなポイント】

- ★冷蔵庫に放置してしまった刺身の大根のつまが大変身。

「豆腐とポテトサラダの重ね焼き」
浜田真理さん
（団体名あけぼのドロップス）



【エコなポイント】

- ★余りがちなポテトサラダを有効活用。豆腐と重ね焼きにしました。

「皮付イモのかき揚げ・ヘタ付きナスのソテー添え」
福島さん



【エコなポイント】

- ★さつまいも・人参は皮のまま、なすのへたも使っています。

受賞作品のレシピは、豊中市ホームページで紹介しています。

豊中市 エコレシピコンテスト

検 索

豊中市ホームページ

http://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/ekoreshipiboshuu.html



レシピはこちらから

○表 彰 式：平成 27 年 12 月 12 日（土）

豊中市立生活情報センターくらしかん

イベントホール

「豊中食品ロス・ゼロフォーラム」にて表彰

表彰後、グランプリ受賞者の SMILE 編集部の和光さんから受賞の喜びについて、また審査員の(株)太鼓亭執行役員の福本さんから審査の講評についてお話いただきました。



豊中エコレシピコンテスト受賞者表彰式

<食品ロス・ゼロフォーラム>

平成 27 年 12 月 12 日(土)「豊中食品ロス・ゼロフォーラム」を豊中市立生活情報センターくらしかんイベントホールで開催しました。(参加者 87 名)

第 1 部は、「豊中エコレシピコンテスト」の表彰式、第 2 部は「弁当の日」提唱者竹下和男さんによる「『もったいない』のころでつくる循環型社会について」のご講演、第 3 部は大阪ガス(株)大石ひとみさんから「はじめませんか『エコ・クッキング』」についてお話いただきました。

※エコ・クッキングは東京ガス(株)の登録商標です。

子どもだけで作る「弁当の日」を説明いただいた後、自ら作る経験により好き嫌いは変わらなくても、食べ残すことが無くなるということや環境がひとを育てるという食育の大切さのお話をいただきました。



第 1 部 竹下和男さんによる講演

4. まとめ

平成27年度の減量推進課の重点的な取組みとしては、可燃ごみの多くを占める厨芥類（生ごみ）、特に、家庭系の厨芥類のうち約4割がまだ食べられるのに捨てられている「食品ロス」と推定されることに着目し、「もったいない」の意識を高めることを目的に、環境にやさしいレシピを公募する「エコレシピコンテスト」や食の大切さを伝える「食品ロス・ゼロフォーラム」を開催する等、食品ロスに関する周知・啓発を強化しました。

豊中エコレシピコンテストでは広く市民からアイデアを募集したことで、食品ロスへの取組みについて大々的に周知することができました。また、地産池消として、エコレシピコンテストの最終審査参加賞には豊中市内産野菜を使用しました。平成 28 年度は豊中エコレシピコンテストグランプリメニューのレシピを活用したエコクッキング講座を行う予定です。

エコクッキング講座は人数が限定されるため、その他の企画などで講座参加者以外への周知方法の工夫が必要と考えています。多くの市民が訪れる市民環境展、とよっぴー祭などの機会を利用して啓発し、今後も引き続き「もったいない」のこころを育み、ごみ減量の実践に繋がる取組みを行っていきたいと考えます。



ごみ減量PRキャラクター「リサビット」

子育て支援センター「手づくりおやつ講座」 レシピ集「親子で簡単クッキング」



＜基本目標と基本方針＞

基本目標－Ⅰ 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

基本方針－A 食に関する知識の普及・啓発や情報提供

＜対象世代区分と関連する世代別目標＞

- ☐ 妊娠期
- ☒ 幼年期(0～5 歳) ☆家族や仲間と楽しく食事をしよう
- ☐ 少年期(6～14 歳)
- ☐ 青年期(15～24 歳)
- ☐ 壮年期(25～44 歳)
- ☐ 中年期(45～64 歳)
- ☐ 高年期(65 歳～)

＜取り組み一覧掲載内容＞

○所管 : こども相談課

○内容 : 3 歳から就学前の親子を対象にした「手づくりおやつ講座」を開催しています。いろんな食材に触れる経験や、手や指先の力加減や調整する経験、「できた」という達成感を味わうことは、自己肯定感や生きていく力を育みます。
また、おやつ講座で実際に作ったメニューを掲載したレシピ集「親子で簡単クッキング」を作成しました。地域の親子向けに配布したり、講座の資料とともに配布しています。

○実績 : 8,000 冊作成

1. 目的

手づくりおやつ講座をととして、地域の親子がおやつを作る楽しさを実感し、手づくりおやつの大
切さを感じ、ともに食育を学ぶ機会とする。

2. 所 管 課

こども相談課

3. 内 容

＜手づくりおやつ講座＞

ほっぺボランティアグループ『オリーブの会』により、年2回実施しています。

平成27年度は1回目を8月6日（木）、2回目を12月8日（火）に行いました。

時間：10：00～11：30

場所：子育て支援センターほっぺ

ほっぺルーム

対象：3歳～就学前の子どもと保護者 15組

内容：バナナのお焼き・みたらし団子・煮干しのカリカリ

参加費：1組300円



『バナナのお焼き』



『みたらし団子』



『煮干しのカリカリ』

～参加者の感想～

- ・みんなで作って食べる体験は初めてだったので、とても楽しそうでお
いしいと喜んでいました。また参加したいです。
- ・ボランティアのお母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃんがいてくれたおかげで、手順などスムーズでしたし、子どもとの交流もよかったです。
- ・同年齢のお友達とおしゃべりしたり、感触を楽しんだりして、とても嬉しそうでした。また参加したいし、いろんなお友達にも体験してほしいです。



<レシピ集「親子で簡単クッキング」>

おやつ講座で紹介したレシピを冊子にまとめました。

掲載レシピは、おやつ講座で実際に作ったメニューで、どれもまぜたり、つぶしたり、からめたりして簡単に作ることができます。おやつ講座参加者からも「簡単に作りやすい」、「少ない材料でおいしい手作りおやつができて感激した」など大変好評なレシピです。

このレシピ集を見て、おうちでも親子一緒に作ってもらえると嬉しいです。

おやつ講座のレシピ集大変好評です！

レシピ集は地域の親子向けに配布したり、講座の際に他の資料と共にお配りしています。



レシピの一部を
ご紹介します



オリブの会について

『オリブの会』は、ほっぺボランティアグループの1つです。

毎月1回集まって、季節ごとの食育ポスター作りやおやつ講座のレシピ作りなどを行っています。

活動を始めるきっかけは、ほっぺのプレイルームに遊びに来たメンバーが何気なく壁を見たとき「何かここに貼りがあれば利用されている保護者の方が見るのでは？」と感じたことです。早速ほっぺの先生に相談すると貼り紙作りの話になり、実際に作って掲示すると、持ち帰りのレシピがなくなるほどの好評でした。その後も継続して行ったところ、『おやつ講座』の開催につながり、そして今回の冊子作りに至りました。レシピ集を見て、多くの方におうちで作ってもらえると嬉しいです。今後も活動を通じて、食育を広めていきたいです。

一緒に活動していただける
メンバーも募集しています。

子育て支援センターほっぺ
(06-6852-5526) まで

4. まとめ

子どもにとって、お家の人と色々なお話をしたり、触れ合ったりしながら一緒に過ごす時間は、とても楽しくて、嬉しい時間です。

親子クッキングを通して、いろんな食材に触れる経験や、手や指先の力加減や調整する経験、「できた」という達成感や、家族が「おいしいね」と食べてくれる喜びを感じることで子どもたちにも自信がつきます。そんな経験が自己肯定感や生きていく力を育むことへとつながっていきます。

ぜひクッキングを通して、親子で楽しい時間を過ごしながら、子どもの成長を見守っていただければと思います。

長い歴史のある「オリーブの会」のみなさんには、子育てで忙しい中、ほっぺに集まってプレイルームに掲示する季節ごとの食育ポスター作りや、おやつ講座に向けてのレシピ作りなどでお力を発揮していただいています。

今回のレシピ集作りは、これまでの活動や、おやつ講座で作ったレシピを、より多くの方に知ってもらい、おうちでも親子で料理を楽しんでほしい、そんなほっぺの思いに「オリーブの会」のみなさんにも共感していただき、とても素敵なレシピ集を作成してくださいました。

今後も活動を応援させていただきながら、親子で作る楽しさや、食育を学ぶ機会を提供していきたいと思います。





コラム① 食の安全安心こどもセミナー

～夏休み自由研究 食品のふしぎを調べてみよう！～（衛生管理課）

衛生管理課では、食品衛生の知識を普及する取組みの一環として、身近な食品添加物の役割を知り、市民が食の安全に関心を持つきっかけとなるよう、市内業者と連携を図り本セミナーを実施しています。

平成 27 年度は 8 月 5 日（水）と 8 月 6 日（木）の 2 回実施し（各回とも同内容）、豊中市内在住の小学校 5、6 年生とその保護者を対象に、実験を交えながら食品添加物の種類や役割、安全性等について学びました。

2 日間で合計、児童 37 名、保護者 16 名の参加があり、児童からは「身の回りの食べ物に食品添加物が役立っていることを知りすごいと思った」、「添加物は悪いと思っていたが、今回のセミナーで添加物に対する意識が変わった」という声や、保護者からも興味深く聞けたとのご意見をいただき、また「実験が楽しかった」と実験を評価する声も多数寄せられました。講義だけでなく、実際に見て、触って体験できる本セミナーは、食品添加物を体感できる貴重な場であり、今後も継続して実施していきたいと考えています。



一般社団法人 日本食品添加物協会の方にお話ししていただきました。



着色料、ゲル化剤、安定剤、香料の実験を行いました。家でできない実験もできてよかった等、楽しかったとの声をたくさんいただきました。



「安定剤を入れるのと入れないので見た感じや手触りが全然違い、おもしろかった」、「アルカリ性と酸性で色が変わることもおもしろかった」（児童感想より）





コラム② 「おすすめ！わが店のヘルシーメニュー2015」

人気コンテスト （保健医療課）



大阪府ヘルシー外食推進協議会（※）では、毎年大阪府内の健康づくり応援団のお店を対象にヘルシーメニューコンテストを実施しています。

2015年度は、4部門あるうちの1部門「ヘルシー朝食メニュー」部門で豊中市にある飲食店「お茶処吉田」さんが最優秀賞を受賞されました。各賞は、一次審査、府民人気投票、二次審査を経て決定。お茶処吉田さんの作品は、野菜、果物、卵、乳製品、主食のパンとバランスよく使われており、府民人気投票でも朝食部門1番の人気、最終2次審査でも審査員から高い評価を受けました。メニューを考案した辻村聖さんは受賞作品『モーニングプレート』について、「オーソドックスなモーニングながら、サラダが単調にならないよう季節の食材や行事に合わせたものを取り入れるよう心がけ、サラダは作り方を聞かれることも多く好評です。今後も愛される店作りを目指します。」とお話しされていました。

（※）大阪ヘルシー外食推進協議会は、外食に関する団体と企業、行政等が一体となり、ヘルシー外食を普及するために活動し、府民の健康づくりを推進しています。

ヘルシー朝食メニュー部門最優秀賞

『モーニングプレート』
お茶処 吉田



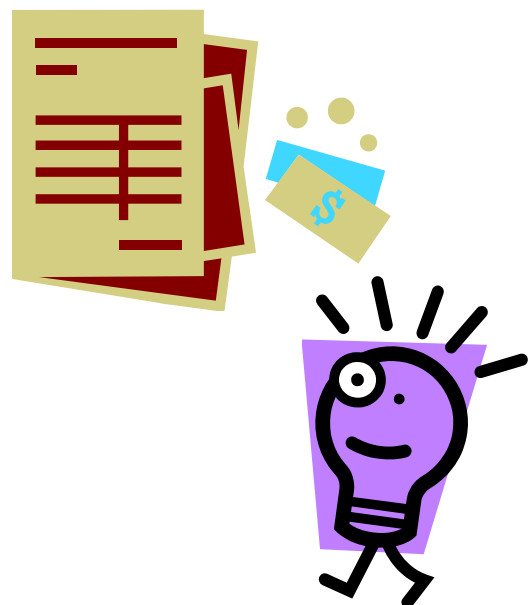
近くに病院と大学、体育館がございますのでそちらを利用の方の来店が多く、お食事に制限があるお客様には可能な範囲で対応させていただいております。今後も愛される店作りを目指します。

最優秀賞受賞 おめでとうございます

平成 27 年 11 月 18 日（水）ヘルシー外食
フォーラム 2015（場所：大阪ガスハグミ
ミュージアム）にて表彰式が行われました。



Ⅱ．各事業の進行状況



1. 基本目標別索引

I. 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	
a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	．．．．．P.24
b. 食育に関する正しい理解の促進	．．．．．P.31
c. 危機管理に対する情報提供と啓発	．．．．．P.35
d. 食育推進運動の周知啓発	．．．．．P.36
II. 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	
a. 幼年期における望ましい食習慣の形成	．．．．．P.39
b. 少年・青年期における食の自立に向けた支援	．．．．．P.43
c. 健康状態にあった食育の推進	．．．．．P.45
d. 調理技術や食に関する知識の習得	．．．．．P.48
e. 適切な食を提供するための環境整備	．．．．．P.52
III. おいしく、楽しく、食事をしよう	
a. 交流を深める場や食事をする機会の提供	．．．．．P.55
b. 楽しい食事の促進	．．．．．P.56
c. 食を通じた地域活性化の促進	．．．．．P.58
IV. 食べる物、食べることを大切にしよう	
a. 体験・機会の充実	．．．．．P.58
b. 環境教育・環境学習の推進	．．．．．P.60
c. 地産地消の推進	．．．．．P.65
V. 歯や口の健康を維持・増進しよう	
a. 歯科疾患の予防	．．．．．P.66
b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	．．．．．P.67

2. 所管別索引

人権政策課	人権政策課【Ⅱ-d-8,9/Ⅱ-e-10/Ⅲ-a-4】 豊中人権まちづくりセンター【Ⅰ-b-1/Ⅲ-a-1,2】 螢池人権まちづくりセンター【Ⅲ-a-3】
政策企画部	広報広聴課【Ⅰ-a-1,2/Ⅱ-d-1/Ⅳ-a-1】
環境部	環境政策課【Ⅳ-b-1,3～5】 公園みどり推進課【Ⅳ-b-6,12～19,21,22/Ⅳ-c-3】 減量推進課【Ⅳ-b-7～9】
市民協働部	コミュニティ政策課【Ⅰ-a-3,4】 くらし支援課【Ⅰ-a-5～14/Ⅱ-d-14/Ⅳ-c-2】
健康福祉部	地域福祉課【Ⅰ-b-2】 障害福祉課【Ⅰ-a-16/Ⅱ-b-1～4/Ⅱ-c-1/Ⅳ-a-2】 高齢者支援課【Ⅱ-c-2】 保健医療課【Ⅰ-a-17/Ⅰ-c-3,4/Ⅰ-d-1,2,4,7/Ⅱ-d-2/Ⅱ-e-1,2,3/Ⅲ-c-1】 衛生管理課【Ⅰ-c-1～3】 保健予防課【Ⅱ-c-22】 健康増進課【Ⅰ-a-18,37/Ⅰ-b-3～12/Ⅰ-d-4,15/Ⅱ-a-1,2/Ⅱ-c-3～10,21/ Ⅱ-e-4/Ⅳ-a-4/Ⅴ-a-1,2/Ⅴ-b-1～5】 保険給付課【Ⅰ-b-13,14】
こども未来部	こども事業課【Ⅰ-a-24/Ⅰ-b-15～22/Ⅰ-d-9～11/Ⅱ-e-8/Ⅲ-a-5/Ⅳ-b-11/ Ⅴ-a-3】 こども相談課【Ⅰ-a-19～22】 こども園【Ⅰ-a-26,31/Ⅰ-b-23/Ⅰ-d-10,11/Ⅱ-a-6,8,11,12,13/Ⅲ-a-5/ Ⅳ-b-10,11】 あゆみ学園【Ⅰ-a-26～29/Ⅰ-b-23/Ⅱ-a-7,8/Ⅳ-a-3/Ⅴ-a-5】 しいの実学園【Ⅰ-a-26,27,29/Ⅱ-a-7,8/Ⅳ-a-3/Ⅳ-b-10/Ⅴ-a-5】
市立豊中病院	栄養管理部【Ⅰ-b-19/Ⅱ-a-5/Ⅱ-c-15～18,20】 看護部【Ⅰ-b-20】
上下水道局	経営企画課【Ⅱ-d-3】

生涯学習課【Ⅲ-b-1～5】

讀書振興課【I -a-23/ I -d-5】

中央公民館【Ⅱ-c-13/Ⅱ-d-4/Ⅱ-e-7】

蚩池公民館【Ⅱ-c-13/Ⅱ-d-5/Ⅱ-e-7】

庄内公民館【Ⅱ-c-13/Ⅱ-d-6/Ⅱ-e-7】

千里公民館【Ⅱ-c-13,14/Ⅱ-d-7/Ⅱ-e-7】

学校教育課【Ⅰ-d-7,8/Ⅱ-b-11/Ⅲ-b-6/V-a-3】

児童生徒課【Ⅱ-b-5/Ⅱ-c-12,13】

学校給食課【Ⅰ-a-26,30,32,33/Ⅱ-b-6～10,12,13/Ⅳ-a-7/Ⅳ-b-11】

小学校【Ⅱ-b-7/Ⅳ-b-10】

都市活力部

スポーツ振興課【I-d-6】

産業振興課【IV-a-5,6/IV-c-1,4】

豊中市社会福祉協議会【Ⅰ-a-15,34~36/Ⅱ-d-10/Ⅲ-a-6~8/Ⅳ-a-9】

NPO 法人市民環境会議アジェンダ 21【IV-b-2】

花と緑のネットワークとよなか【IV-b-6,13～22/IV-c-3】

豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園【I-a-24~26,31/ I-b-21~23/ I-d-10,12~14/

II-a-6,8~11/ II-e-9/IV-a-8,10/IV-b-10/V-a-3,4】

豐中市民間保育園連合会加盟保育園【I-d-10,12/IV-a-8/V-a-4】

老人クラブ連合会【Ⅱ-d-11,12/Ⅲ-a-9/V-a-6】

一般財団法人豊中市医療保健センター【I-b-24】

豊中市学校歯科医会 【Ⅱ-e-11/V-a-7/V-b-6】

(一社)豊中市歯科医師会【V-a-7,8/V-b-6~9】

(一社)豊中市薬剤師会【I-d-3】

豊中地域活動栄養士会トウデイ【Ⅱ-d-13】

3. 平成 27 年度 食育関連事業取り組み一覧

【凡例】

【対象世代区分】

幼年期（0～6 歳、就学前）

少年期（6～15 歳、児童・生徒）

青年期（15～24 歳）

壮年期（25～44 歳）

中年期（45～64 歳）

高年期（65 歳～）

【今後の方向性】

◎ → 充実（今後さらに積極的に取り組む予定）

○ → 継続（今後も同様に取り組む予定）

△ → 縮小（規模などを縮小して取り組む予定）

－ → 廃止（終了する取り組み）

完 → 完了（単年度事業、期間の決まっている取り組みで完了するもの）

平成 27 年度 食育関連事業取り組み一覧

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	1	広報とよなか	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	月 1 回発行。全世帯と全事業所に配布しています。市の各種施策や事業計画、福祉、環境、文化・スポーツなど市民に必要な情報を提供しています。	年間発行部数 2,362,850 部 うち食育関連お知らせ記事 98 件	継続して記事を掲載していきます。	○
		2	ケーブルテレビ番組「かたらいプラザ」	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送しています。	年間番組制作数 25 件 うち食育関連の放送 3 件	継続して告知等を実施していきます。	○
		3	市民公益活動推進のための情報提供	コミュニティ政策課		●	●	●	●	●	●	●	「市民活動情報サロン」（豊中駅舎内）にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動（市民公益活動）に関する情報提供や相談等を実施しています。（運営は、公募によりとよなか市民公益活動協議体に委託）	市民活動情報サロン来場者数 7,475 人 団体情報掲載団体数 140 団体	「食育」をはじめ、さまざまな分野の市民公益活動への関心を高め、活動のきっかけづくりや市民団体どうしのつながりづくりにつながっています。	○
		4	市民公益活動推進助成金	コミュニティ政策室		●	●	●	●	●	●	●	分野を問わず、公募し、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自律的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	助成金交付事業数（14 事業） 助成金交付額 （1,997,000 円）	「食育」をはじめ、さまざまな分野の市民公益活動団体が、助成金を活用し、段階的に自律発展しています。	○
		5	技術・家庭科副読本「くらしのノート」	くらし支援課				●					消費者教育資料集（技術・家庭科副読本）「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しています。豊中市食育推進計画に関する記述あり。	小学生版に食育推進計画に関する記述あり。 市内在学の小学 5 年生に配布 小学生版 4,100 部発行	食に関する情報を伝えることができました。	○
		6	生活関連物資課題調査	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	（とよなか消費者協会に委託）食料品、日用品等の生活関連物資について、年 3 回テーマを決め市場調査を行っています。	年 3 回実施。 調査内容「食用植物油等の品質表示などの調査」「量目調査」等	調査結果を情報配信し、食に関する情報を伝えることができました。	○
		7	くらしの情報	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。	A4 判 3,000 部発行／回 点字版 B5 判 15 部発行／回 各年 4 回	食に関する情報を伝えることができました。	○
		8	くらしかんのホームページ	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	平成 14 年度に生活情報関連システム（くらしネット）を大幅に見直し、くらしかんホームページにより、消費生活情報を提供しています。	平成 20 年度より市ホームページの一部に入り形式がリニューアルしましたが、引き続き消費生活情報を提供しました。 総利用件数 39,204 件	食に関する情報を伝えることができました。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅰ 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	9	くらしかん祭り	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	①消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん全体で行う消費者啓発イベントを開催しています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。	協力団体 19 団体(くらしかん登録グループを除く) 参加者数 875 人	食に関するブースを設けているので、食育を推進することができました。	○
		10	くらしの教員セミナー	くらし支援課						●	●	●	小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座(年2～3回)を実施しています。	2 回実施。(内食育関係 2 回)	小中学校の教員向けに、学校における消費者教育を推進することができました。	○
		11	消費者啓発講座	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	①消費生活セミナー:消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事:消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って啓発事業を実施しています。 ③学校向けに啓発講座を開催しています。	①消費生活セミナー:2 回(内食育関係0回) ②消費者月間行事:1 回(内食育関係0回) ③学校における啓発事業 88 回(1 クラス1回でカウント) 3,328 人(内食育関係 48 回 1,676 人)	食生活全般に関する講座を実施し、食育を推進することができました。	○
		12	くらしの研究発表会	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	くらしに関する問題について、調査・研究をしている消費者グループなどに発表の機会の提供を毎年行っています。	発表団体は5グループ、「くらしから提案!2015」を発行	今回は食に関する研究発表が3テーマあり、食に係る知識を深めることができました。	○
		13	生活情報ひろば事業 (市民啓発業務等)	くらし支援課		●	●	●	●	●	●	●	(とよなか消費者協会に委託) 平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。	パネル展 5 回「地産地消と大阪産農産物」他 地産地消イベント 11 回 講座 18 回「お魚屋さんが教える魚の捌き方教室」「洋菓子教室」「夏休み親子クッキング エコなくらし」等	くらしかん登録グループの特色を生かした食に関する講座やパネル展示を実施し、食育を推進することができました。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	14	消費者活動の支援	くらし支援課						●	●	●	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業（リユースバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3 か月前から6 か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ 10 団体	くらしかん登録グループの特色を生かした食に関する講座やパネル展示を実施し、食育を推進することができました。	○
		15	ふくしねっと とよなか	豊中市社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	（市補助事業） 豊中市の福祉や健康に関する行政サービス情報をはじめ、ボランティアなどの地域福祉活動情報、介護保険や福祉関連の民間事業者情報などを市のホームページに掲載しています。	平成 26 年度末で完了		完
		16	市立障害者通所施設等での給食の献立表と給食だよりの配布	障害福祉課					●	●	●		栄養士による食育に関する情報を掲載しています。	毎月 1 回	利用者や家族から「ためになる」との意見をいただきました。食育に関する情報発信の貴重な場と考えます。	○
		17	ホームページ「栄養・食生活」	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成 18 年 6 月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供、食育に関する情報の発信、「とよなかの自慢料理」の紹介等を行っています。	「とよなかの自慢料理」では、市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設で提供されている給食の中から、各施設のおすすめメニューをお知らせしています。また、給食を作っている人の思いや様子もお伝えしています。	今後「とよなかの自慢料理」の紹介メニューを充実させていきます。	○
		18	「食事バランスガイド」の啓発	健康増進課		●	●			●	●	●	食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を行っています。	随時実施	「食事バランスガイド」を参考に食生活を行う人を引き続き増やしていきます。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	19	情報誌等の発行	こども相談課 子育て支援センター		●	●						妊娠がわかってから就学前までの子育て情報を掲載した「子育てサービスガイド」、公立こども園・民間保育園・私立幼稚園・子育て支援センターの情報を掲載した子育てマップ“てくてく”を発行し、離乳食講座・食の講座の情報を提供しています。	同左	各支援センターなどに設置。こんにちは赤ちゃん訪問でも情報誌を配布し、市民に活用されています。	○
		20	子育て支援ホームページの充実	こども相談課 子育て支援センター			●						豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。	同左	毎月更新を行うことで、最新の子育て情報が発信でき、さまざまなイベントへの市民の参加につながりました。	○
		21	子育て支援センターほっぺ事業	こども相談課 子育て支援センター			●						①地域子育て支援センターを統括する中核施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て・子育て情報の受発信や相談、子育て講座(手づくりおやつ講座)、地域の子育て支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートしています。 ②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関係機関と連携して全市的な子育て支援のネットワークづくりを進めています。	育ちの講座（1,2,3 歳）年 2～4 回	離乳食の悩みから始まって、食に関する悩みの相談が多いので、丁寧に対応するよう心がけています。	○
		22	地域子育て支援センター事業	こども相談課 子育て支援センター			●						①16ヶ所の地域の子育て拠点施設として、子育て相談、情報提供、子育てサークルの育成、遊びや交流の場の提供等を行っています。 ②地域支援保育士とともに、「地域福祉ネットワーク会議子ども部会」を運営、住民や関係機関・団体との連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組んでいます。	地域子育て支援センター食育講座 各 1～2 回	こども園内の支援センターなので、調理担当の協力のもと実践に対応した食の提供を行うので、参考になったという声が多く聞かれました。	○

食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	23	関連資料提供、読書振興	読書振興課・図書館		●	●	●	●	●	●	●	①食育に関する図書や資料・情報の収集と提供・相談を行っています。 ②食育への関心を深めていくため関連資料の展示などを行っています。	すこやかプラザで開催されている健康カレッジ（テーマ「シニアライフ」）にて口腔ケア、食生活についての関連資料の紹介、貸出を行いました。同時に食育パスファインダー（情報の調べ方パンフレット）や利用案内を配布しました。	講座・イベントのテーマや参加者層に応じて、関連図書の紹介や貸出を行っています。幅広い層・部局の講座・イベントに対応可能で、参加者からも講座について学びなおすことができた等、好評をいただいています。	○
		24	食に関する情報発信「簡単おいしいクッキング」「びよびよ（離乳食の進め方）」「食育だより」等	各保育所・園、幼稚園、こども事業課			●						レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。	随時配布 献立表の中に記載食材紹介や季節の行事などを知らせています。 毎月の給食予定献立表の余白に食に関する情報（食材紹介や季節の行事など）を記載します。	こども園(旧保育所)で実施しているメニューは親しみやすく簡単に作れるレシピ等は好評です。 献立表の一部として保護者が関心を持ってくれています。	○
				豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えています。	毎月の献立表に食に関する情報を掲載。（旬の紹介など）「食育ひろば」「食育だより」「クラスだより」などの発信もあります。	家庭での料理にも役立ち、人気献立のレシピは好評です。	○
		25	保護者向けに発行する通信	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						栄養士等による食育に関する記事を掲載しています。	管理栄養士作成の「食育コラム」通信などの発行もあります。	食に関心をもってもらう良い機会となっています。	○
		26	給食の献立表等の保護者への配布	各こども園			●						毎月給食予定献立表を配布。	月 1 回配布（アレルギーの園児に別メニュー配布）	献立を伝えることで家庭での食事にも役立ち、児童及び保護者の食物アレルギーの対応にも活用していただいています。 管理栄養士作成の成分献立表は特に評価されました。 バランスのよいメニューの提案にもなり、アレルギー対応にも有効です。	○
				学校給食課				●					毎月給食予定献立表を配布。	月 1 回約 20,000 枚×11 ヶ月分配布	献立を伝えることで家庭での食事にも役立ちます。児童及び保護者の食物アレルギーの対応にも活用しています。	◎
				豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						毎月給食予定献立表を配布。	献立表を家庭数配布し、アレルギー対応の献立表も別に配布しています。	家庭での食事に役立ち、園児や保護者の食物アレルギー対応に活用されています。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高齢期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	食に関する知識の普及・啓発や情報提供	27	給食だよりの配布	あゆみ学園、しいの学園			●						給食予定献立、食育に関する情報を掲載した給食だよりを配布しています。	月 1 回	食育に関する情報発信の貴重な場と考えています。	○
		28	食育だよりの配布	あゆみ学園			●						給食に関する情報を記載した「食育だより」を配布しています。	月 1 回	子どもたちの人気のメニューを紹介し、食事のメニューの広がりにつなげます。	○
		29	レシピの発行	あゆみ学園、しいの学園			●						給食の中から、家庭で作りやすいようにアレンジしたレシピを発行しています。	随時実施。	家庭での食事のメニューの広がりにつながると考えます。保護者からも好評です。	○
		30	小学校給食ホームページ	学校給食課	*	●	●	●	●	●	●	●	①献立表の掲載 ②毎日の献立を画像付で紹介 ③給食メニューのレシピ紹介 ④食育イベント等の報告	給食実施日（約 190 日/年）の A・B・C 献立のレシピ。給食をいっしょに！の活動報告。おすすめレシピ（10 件）など	児童がどのような給食を日々食べているのかを保護者の方も確認できるツールとして役立てていただいています。	◎
		31	こども園地域活動事業	各こども園		●	●	●	●	●	●	●	園庭開放、誕生会、発育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	地域の子育て家庭対象に園庭開放（毎日）。誕生会・発育測定（月 1 回）。こども園行事に参加案内、世代交流随時、講座、サークル活動の定期的実施（毎月）親子体操（概ね毎月 1 回実施）など。	安心して遊べる場所であり、情報交換や相談等で継続して来られる方が多く、地域に果たす役割は大きいと思います。また園庭開放は園を知っていただくよい機会、子育て相談を受けたり、同年代の子どもをもつ保護者の交流の場になっています。誕生会での親の給食試食会など行う時は好評です。	○
				豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園		●	●	●	●	●	●	●	所庭開放、誕生会、発育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	園庭開放をはじめ、未就園児対象の左記のとりにくみに加えて、親子クッキングや親子体操などのとりにくみもあります。	子育ての相談を受けたり、保護者間の交流の場となっています。	○
		32	教室向け給食だより「もぐもぐ」、栄養メモ	学校給食課				●					毎月、教室掲示用に給食だより「もぐもぐ」、献立カレンダー、（栄養・食品に関する説明入り）を発行しています。	給食だより「もぐもぐ」、献立カレンダーは月 1 回各クラス 1 枚ずつ配布しています。	献立を通して、栄養に関する知識や食育情報の提供の場として実施しています。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅰ 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	33	お弁当づくりの冊子	学校給食課				●					お弁当づくりの冊子を 6 年生児童に配布しています。	お弁当づくりの冊子を 6 年生児童に配布しています。	6 年生児童数約 4,000 部配布	◎
		34	子育てサロン	豊中市社会福祉協議会			●	●					(市補助事業) 親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行っています。	38 校区 528 回／16,180 人	継続実施	○
		35	ふれあいサロン	豊中市社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	(市補助事業) なかまづくり・健康増進、いきがいの場として開催校区福祉委員会民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行っています。	38 校区 1,409 回／22,478 人	継続実施	○
		36	地域子育て支援事業	豊中市社会福祉協議会			●						(市補助事業) ①わいわい子育てミーティングを開催しています。 ②子育てサークルマップを作成しています。 ③校区福祉委員会での子育て支援活動(小地域福祉ネットワーク活動)を進めています。	①1 回 39 人 ②6,000 部 ③38 校区 (528 回／16,180 人)	継続実施	○
		37	健康教室	健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員がその居住する小学校区において、豊中市(健康増進課)と協力して実施する健康教室で、食育や口の健康に関するテーマも取り上げています。校区福祉委員会・公民分館・老人会等と共催したり、講師を市や保健所の専門職員以外に地域住民にお願いしたり、小学校や地区会館で行ったりと、地域に密着して行っています。	校区健康教室 50 回開催 参加者 1,629 名 うち、食育に関するテーマ 8 回開催 参加数 243 人	健康に関する情報を地域で展開する役割を担う団体として、各校区での健康教育の企画・開催は役割を果たしていると考えます。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	b 食育に関する正しい理解の促進	1	子育て・教育相談	豊中人権まちづくりセンター			●	●					子ども、保護者からの子育てや教育等に関する相談全般を行っています。また、地域の関係機関等と連携して支援を行っています。	食事を含めた生活習慣の大切な部分も伝えながら、相談支援を行いました。 相談回数 163 回 相談者数 163 人	深刻なケースほど、生活習慣面、食生活が乱れてくるため、見直せるような助言等が行える機会は貴重と考えています。	○
		2	福祉なんでも相談窓口	地域福祉課		●	●	●	●	●	●	●	(社会福祉協議会に委託) 校区の福祉委員会と民生・児童委員が連携して「福祉なんでも相談」を実施しています。	食育に関する相談は受けていません。	今後も食育に関する相談に対応するケースがないと見込まれるため、掲載終了。	—
		3	母子健康手帳交付時の指導	健康増進課		●							母子健康手帳の交付の機会を通じ、医療職がすべての妊婦と面接することにより個々の妊娠・出産・育児などに関わる不安や悩みを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介などの援助を行っています。	妊娠届出数 3,707 人	医療職がすべての妊婦と面接することで、妊娠期からの支援や情報提供を行うことが出来ています。	○
		4	妊産婦・乳幼児等電話面接相談	健康増進課		●	●						①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話等による相談に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師等が相談に応じています。 (平成 22 年 6 月から「妊娠出産子育て総合相談窓口」を開設し、関係機関との連携もはかります) ②健診後に育児状況など確認が必要と思われる対象者に対し保健師等から電話による保健指導を行っています。	電話面接相談数延 11553 人	専門職が相談内容に応じて、対象に合った指導を行いました。継続的に相談支援が必要な対象者には、電話等で保健指導を行いました。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
I	b 食育に関する正しい理解の促進 食育に関する情報を正しく理解して、 実際に行動しよう	5	育児相談	健康増進課			●						①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、3会場で1～2回／月ずつ実施。保健師・栄養士・保育士が相談に応じます。 ②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相談を実施しています。	294 回実施、相談数延 2,172 人	専門職が相談内容に応じて、対象に合った指導を行いました。継続的に相談支援が必要な対象者には、面接等で保健指導を行いました。	○
		6	妊産婦・乳幼児等訪問指導	健康増進課		●	●						必要と認められた人に対し保健師または助産師・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。	実 3943 人 延 4732 人	専門職による家庭訪問で個々に応じた保健指導ができました。	◎
		7	4 か月児・1 歳 6 か月児・3 歳 6 か月児健診時の保健指導	健康増進課			●						①4 か月児健診では、第 1 子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。また、栄養士や保健師などによる個別の相談や保健指導も行っています。 ②1 歳 6 か月児健診及び 3 歳 6 か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。	①4 か月児健診 実施回数 48 回 集団 2032 人、個別 19 人 ②1 歳 6 か月児健診 実施回数 44 回 個別 204 人 3 歳 6 か月児健診 実施回数 38 回 個別 66 人	専門職が相談内容に応じて、対象に合った指導を行いました。継続的に相談支援が必要な対象者には、二次検診、育児相談、面接、電話等で保健指導を行いました。	◎
		8	健康相談	健康増進課						●	●	●	生活習慣病予防・介護予防・歯・栄養・心など健康に関する相談に電話や面接で応じています。 ①面接相談（糖尿病、病態別食生活、歯科、リハビリ相談など） ②電話相談	888 回 2104 人	食に対する相談に対しては、各専門職で対応しています。	○
		9	骨粗しょう症検査時の保健指導	健康増進課					●	●	●	●	18 歳以上の女性を対象に、骨密度測定（集団検診）を行っています。 ○超音波によるかかとの測定	骨密度測定 1,436 人	受診人数が、昨年（1032 人）より増加しました。	○
		10	訪問指導	健康増進課						●	●	●	保健師・作業療法士・歯科衛生士が家庭を訪問し、介護や療養方法、健康管理に必要な事項を指導しています。	訪問 実 46 人 延 249 件	専門職による訪問指導で対象に合った指導ができました。食に関する問題は常に付随しています。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	b 食育に関する正しい理解の促進	11	特定健診	健康増進課						●	●	●	平成 20 年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者（いずれも 40 歳～74 歳）を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けられました。豊中市国民健康保険加入者を対象に実施しています。	特定健診 21,430 人 （受診率 29.4%）	健診の受診によりメタボリックシンドロームの発見などを図ってきました。受診率は昨年（27.9%）に比べ、増加しています。	○
		12	特定保健指導	健康増進課						●	●	●	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。	動機づけ支援 388 人、積極的支援 89 人、計 477 人（受診率 24.2%）	メタボリックシンドロームの解消や予防のための指導を行いました。	○
		13	骨密度測定時の保健指導	保険給付課					●	●	●	●	健康展参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。	開催回数 1 回 参加者数 215 人	市民が自己の健康管理をする為の支援が来ています。	○
		14	人間ドック受診時の保健指導	保険給付課						●	●	●	人間ドック受診対象者（20 年度より 30 歳以上 74 歳以下）に対し、医療機関が個別指導を実施しています。	人間ドック 1,806 人 脳ドック 240 人 セット（人間ドック+脳ドック） 1,323 人	医療機関が個別指導をすることによって疾病の予防、健康管理をするための支援ができています。	○
		15	放課後子どもクラブでの指導	こども事業課				●					放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の本市に居住する、または本市の市立小学校の 1 年生から 4 年生（支援学級在籍の児童及び本市に居住する支援学校在籍の児童は 6 年生）までの児童の健全育成をはかっています。	放課後子どもクラブの全日開設日の弁当時に、食事マナーや食べ物を大切にせず残さず食べること、感謝していただくことなどの指導を行いました。また、身体作りにつながっていることに気づくよう指導しました。	「いただきます。」「ごちそうさまでした。」のあいさつをする中で、お弁当を作ってくれる人への感謝の気持ちが見受けられ、また、食べ物と体づくりがつながっていることを感じながら、友達と楽しく食べることができました。	○
		16	育児支援家庭訪問事業	こども相談課 子育て支援センター			●							児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。	育児支援家庭訪問回数 75 回	個々の相談内容に応じた助言を行い、相談内容によっては関係機関と連携を図りながら支援を行いました。
		17	子育て支援センターの相談事業	こども相談課 子育て支援センター			●						育児、食育、健康などについての相談指導（電話、面接、訪問、出前相談）を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。	ほっぺ相談件数 2,145 件 地域子育て支援センター相談件数 13,068 件	電話相談の他にも支援センターを利用する保護者が気軽に何でも相談できるという安心感から不安の軽減につながりました。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	b 食育に関する正しい理解の促進	18	こんにちは赤ちゃん事業	こども相談課 子育て支援センター			●						生後 4 ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行います。また、子育てに関する情報提供を行います。	訪問対象者数 3,687 人	対象家庭への情報提供を行った後に、近くの支援センターや子育てサロンに出かける親子が増えてきている傾向が見られます。	○
		19	個人栄養食事指導事業	市立豊中病院栄養管理部		●	●	●	●	●	●	●	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を行っています。	指導人数 1,628 名	医師の指示のもと、個人に即した栄養相談を継続していきます。	○
		20	ふれあい看護での相談事業等	市立豊中病院看護部		●	●	●	●	●	●	●	①看護の日イベントを行っています。 ②栄養管理部では各種生活習慣病の食事による予防及び治療についてのパネル展示、骨密度測定・血糖測定・体脂肪測定後の異常値が出た方への無料栄養相談などを行っています。	開催回数 1 回。相談人数 26 人	今年度のテーマ「地域医療の輪」例年通り、【骨粗鬆症】、【カルシウムチェック】、【コレステロール】について、パネル展示を行い、希望者へ栄養相談を行いました。一般の市民さんへ年度ごとのテーマにあわせた食事の啓発活動ができました。	○
		21	地域に開かれた幼稚園づくり事業での相談等	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						私立幼稚園における「子育て支援事業」（育児・教育相談など）を実施しています。	キンダーカウンセリングの実施、未就園児対象の園庭開放時の相談。	保護者間の交流もみられました。	○
		22	育児相談・就学前相談	こども事業課			●						こども園を会場に、地域の子育て中の保護者を対象にした専門家による相談事業を実施しています。	随時実施 専門家による相談を実施	こども園においては、食育についての相談よりも心身の発達やしつけ・進学に向けての相談が多くなっています。	○
				豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						地域の子育て中の保護者を対象にした専門家による相談事業を実施しています。	私立幼稚園においてもキンダーカウンセリング実施。	心身の発達や偏食の相談も増えています。	○
		23	ふれあい子育て相談	各こども園・あゆみ学園			●						子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を行っています。	発達相談や育児相談を、園内のみならず地域にも広報し受けました。	各々の状況に合わせたアドバイスにより育児不安が軽減されています。	◎
				豊中市私立幼稚園連合会加盟園			●						子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を行っています。	随時。	各々の状況にあわせたアドバイスができます。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性	
Ⅰ 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	b 理解の促進 食育に関する正しい	24	電話・面接健康相談	一般財団法人豊中市医療保健センター		●	●	●	●	●	●	●	(団体自主事業) 電話もしくは面接で、健康に関する相談に対応しています。相談の対応は、医師会・歯科医師会及び薬剤師会の会員が行い、食育や口の健康に関する内容も相談できます。 市民健康展会場での相談では、栄養相談の窓口も設けています。	8 科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数 84 件 14 科目健康相談（市民健康展で実施） 相談件数 142 件	幅広い年齢層、相談内容に対応し、利用者からも概ね良い評価を得ています。	○	
	c 危機管理に対する情報提供と啓発	1	食中毒予防街頭キャンペーン	保健所衛生管理課						●	●	●	●	食品等事業者や消費者団体と協力し、食中毒多発シーズンを前に街頭キャンペーンを実施し、広く市民に食中毒への注意喚起を行っています。	H27.7.2 阪急曽根駅周辺にて実施しました。 参加者 750 名	街頭キャンペーンでは、特に食品衛生に興味を持たない市民に対しても広く啓発を行うことができました。	○
		2	小学 1 年生向けリーフレットの配付	保健所衛生管理課					●					食中毒予防の 3 原則の周知と、食肉の生食を避け、十分加熱して食べるよう啓発を行っています。	H27.6.29 市内公立、私立小学校の 1 年生へ配布し、食中毒予防の啓発を実施しました。 作成数 4,500 枚	毎年度、大阪府と連携し、豊中市内の小学校 1 年生を対象に食中毒予防リーフレットの配布を行い、食品衛生の知識普及に努めています。	○
		3	食育推進のための安全安心ハンドブックⅡの活用	保健医療課衛生管理課			●	●	●	●	●	●	●	食中毒を予防し、安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。地域のお祭りや、イベントなどで模擬店を出店するとき、調理実習をする時などに活用できます。	庁内関係各課を中心に、市民の方にも配布しました。	食中毒予防及び継続的な食育活動に向けて、今後も必要に応じて配布します。	○
		4	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	保健医療課危機管理課			●	●	●	●	●	●	●	自宅だけではなく、近所・遠方にいるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成しました。災害への備えなどをまとめた「準備編」、災害発生時の対応をまとめた「災害対応編」を掲載しています。	6,000 部増刷しました。 防災関係の出前講座や訓練などで配布しました。	今後も内容を見直し、増刷する予定です。	◎
		5	法人説明会	福祉指導監査課			●	●	●	●	●	●	●	保健所衛生管理課に講師を依頼し、施設における食中毒予防について講演を行っています。	平成 27 年 6 月 26 日実施 82 人	施設での食中毒予防についての知識の普及は重要なことだと考えています。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	d 食育推進運動の周知啓発	1	食の育みフォーラム	保健医療課					●			●	食育推進計画の周知のため、市民に身近なテーマでフォーラムを開催しています。	健康づくり計画啓発講演会との合同企画としてウォーキングイベントを実施。24 名の参加があり、ウォーキング前に「健康長寿のための食べ方」について講義しました。	他課と連携し取り組むことができました。日常の中で食育や健康づくりに自然と取り組むことができるようなきっかけづくりを今後も提供していきたいです。	○
		2	食育プラスワンシートの作成・配布	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	第 2 期食育推進計画を市民の方に実践していただけるよう、「ほんの少しの取り組みから始めましょう」という思いを込めてプラスワンシートを作成・配布しています。	①既存シートの活用 ②血糖値・血圧・コレステロールが気になる人のためのプラスワンシート及び健康増進のためのプラスワンシート（協力：市薬剤師会）を市内薬局（薬剤師会会員店舗）を通じて配布。 ①②合わせて合計 54,800 枚活用。	シートの内容について他の部局と検討したり、食育や健康づくりに関するシートをチラシの裏に印刷させていただくことで、複数の部署や関連団体と協働して食育事業を実施する環境の整備につながっているほか、関心の薄かった層にも食育という単語を知っていただく機会になっていると感じています。食育を実践していただくためのツールとして、今後も広く活用していきます。	◎
		3	食育プラスワンシートの活用	(一社)豊中市薬剤師会					●	●	●	●	①血糖値が気になる人のためのプラスワンシート ②血圧が気になる人のためのプラスワンシート ③コレステロールが気になる人のためのプラスワンシート ④健康増進のためのプラスワンシート ①～④を市内薬局（薬剤師会会員店舗）を通じて配布しています。	①～④各 50 枚を市内 130 薬局（薬剤師会会員店舗）を通じて配布しました。市民向け無料お薬講演を聴講にいられた市民へ配布しました。自己採決イベントに参加された市民への健康アドバイスのアイテムとして配布しました。	市民とのコミュニケーションツールとしても活用できました。来年度も引き続き活用する予定です。	◎

基本目標	基本方針												内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
		事業等	所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期					
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	d 食育推進運動の周知啓発	4	「食育月間」「食育の日」の啓発	保健医療課 健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	毎年 6 月を食育月間、毎月 19 日を食育の日として啓発を行っています。	食育に関する講座の中で食育月間・食育の日の周知を行いました。	引き続き、市民が食育に関心を持ち取り組みやすくするための取り組みをすすめます。	○
		5	食育コラボ～みんなで は・は	読書振興課・図書館			●		●	●	●	●	乳幼児向けに歯科衛生士によるお話と図書館職員によるおはなし会を行います。成人向けには口腔機能の講座と関連本の紹介を行います。関連本や絵本の貸出も行い、お口の健康に関する個別相談の時間も設けます。	27 年度は乳幼児向け 5 館と成人向け 2 館で開催しました。乳幼児向けも含めチラシは実施館周辺の歯科医院にも設置をお願いしました。	成人向けについてはチラシ・ポスター・図書館ホームページ・広報などで P R しましたが、参加者数は少なかったです。参加された方のアンケートの満足度は高かったため、今年度も実施したいです。幼児向けは参加も多く、アンケートも好評なので引き続いて実施予定です。	○
		6	体育の日の事業	スポーツ振興課			●	●	●	●	●	●	体育の日の事業による健康啓発等の実施をしています。	平成 27 年 10 月 12 日に開催。新体力測定、骨密度測定等を実施。参加人数 749 人	子どもから高齢者までの幅広い参加があり、スポーツを通じて健康や食育について考える機会となった。	◎
		7	小学生メニューコンテスト	学校教育課 保健医療課				●					小学 5・6 年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞・入選作品メニューを市の小学校給食献立や食育推進事業に活用しています。	夏休みに実施。3,686 人から「栄養バランスがよい」「おいしい」「作りやすい」などの工夫がされたメニューの応募がありました。(入賞 6 人、入選 6 人)	夏休みに実施するため、多くの応募があります。また、受賞作品の学校給食採用、給食だより等での紹介により、学校関係者・保護者に認知されるようになってきており、学校、家庭における食育の推進が可能と考えています。	◎
		8	学校における「食に関する指導の全体計画」の策定	学校教育課				●					①各校の定める「食に関する指導の全体計画」に基づき指導します。 ②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導、給食時間における食に関する指導などを進めています。	①各校の定める食に関する指導の全体計画に基づき指導しました。 ②「食に関する指導の手引き」を活用した指導、教科・領域などにおける食に関する指導などを進めてきました。	各校において、食に関する指導の全体計画を中核とした食育の推進は重要であると考え、全体計画の見直し・改善にむけた指導を今後も進めていきます。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	d 食育推進運動の周知啓発	9	食育目標の作成	こども事業課			●						「豊中市食育推進計画」「改定保育所保育指針」を踏まえた豊中市立こども園の食育目標を作成。	豊中市立こども園の食育目標を基に、各こども園の子どもの実態に即した目標を作成。	食育目標を作成することで見通しをもって活動することができました。	◎
		10	キッズフェスタ	こども事業課			●						親子の触れ合いや遊びの場の提供、幼児教育情報の発信の中で「食」に関する情報の提供をします。（年一回）	26 年度で廃止	26 年度で廃止	—
				(一財)豊中こども財団 豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園 豊中市民間保育園連合会加盟園 豊中市立認定こども園			●						親子の触れ合いや遊びの場の提供、幼児教育情報の発信の中で「食」に関する情報の提供をします。	市の補助事業として（一財）豊中こども財団が主催実施。親子のふれあいの場として活用いただけました。	「食」に関する情報の提供の場とはなっていません。	
		11	子育て総合支援事業「子育て・子育て支援講座」	こども事業課、こども園（旧幼稚園）			●						食育についての講習会や専門講師による講演や親子ふれあい遊びなどを実施しています。	食育についての講座を保護者対象に年間 5 回実施しました。	各園、食育をテーマにした講座を取り入れ実施したことが、保護者と共に子どもの健康について考える機会になっています。	△
		12	在園児及び未就園児の保護者向け講演会	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園、 豊中市民間保育園連合会加盟保育園			●						○幼児期の食についての講座を開催しています。 ○給食の試食を行い、その中で、栄養士・教諭が給食の意義・給食で行う指導について説明しています。	年 1 回、給食参観・給食試食会。栄養士などによる説明があり、意見交換しています。	給食の内容について理解が得られました。	○
		13	バザー	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						産地直送の野菜コーナーを設けています。	実施園なし。	定期的なとりくみになっていません。	△
		14	「食育年間計画」の策定中	市立こども園、豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						幼稚園教育で「食育の年間指導計画」に基づき指導します。	園の実際に即してたてた計画に基づき実施。	毎年見直し。	◎
15	市民健康づくりフォーラム	健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員及び一般市民を対象に健康に関する情報を伝える講演会を開催しています。	フォーラム会場にて、健診啓発と健診の受付、健康に関するパネル展示を行いました。 フォーラム参加者 121 人	フォーラム参加者に対して、健診の啓発を行うとともに、会場での健診受付を行うことは効果的でした。	○	

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ	a 幼少期における望ましい食習慣の形成 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活	6	給食・弁当時の指導	各こども園			●						①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	毎日実施 バランスのとれた食生活やたのしく食事ができるように工夫しています。 食事前の手洗い、うがい実施・歯磨きなどの衛生指導をしています。 配膳の準備等の手伝いを実施 左記に加え、箸の使い方についても指導しています。	食べ物と身体づくりがつながっていることや自分の食べる量を理解することができました。 仲間と共に楽しく食べ、残さずきれいに食べた時の心地よさを感じることができ、食べ物に興味を持ち、折にふれ季節の食べ物について話をするなど食を話題にする姿がみられました。 偏食が減り食事のマナーが身についています。 管理栄養士と相談しながらアレルギー対応を含め地道に行っています。 仲間と一緒に食する環境は子どもの食への興味を増し、又意欲的に食べるようになりました。 給食とお弁当の併用により、親子のコミュニケーションがとれ、食育の柱となっています。	◎
				豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●						①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	同左。	食べ物への感謝や食事のマナーなど、今後もていねいに指導していきます。	◎
		7	摂食指導、栄養指導	あゆみ学園、しいの 学園			●						①個々の摂食機能、食事の好みに合わせた食べ方、食べさせ方について、保護者に指導しています。 ②食に関する保護者からの相談にのっています。 ③保護者向けの食に関する講座を開催しています。	随時実施。	園と家庭が連携してこどもの食を支えていくために、重要な役割を果たしていると考えます。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅱ	a 幼少期における望ましい食習慣の形成 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活	8	給食	各こども園			●	●					①こどもが、おいしく、安全に、楽しく食事をすることで、心身両面の発育を促して（保障して）います。 ②季節の行事食を提供しています。 ③給食の配膳を児童・生徒が自ら行うようにしています。	●お味見当番 ●自分でおにぎり ●調理に関わる（野菜の皮むき・すじ取り・ごますり・和え物を仕上げる・おやつ作り etc) ●食材を見る・触る ●厨房の見学等	食材に触れたり、給食作りに関わり調理の過程を知ること で食材や調理をしてくれた人に親しみが深まり給食に期待感をもってより積極的に食べるようになりました。食べ物に興味をもち「食」を話題にする姿がみられました。	◎
				あゆみ学園、しいの学園			●						①障害特性に応じたメニュー、食形態の給食を提供しています。 ②個々に適した食形態への加工方法、食事介助について、保護者に体験していただいています。 ③共食体験等を通じて、食べることを楽しいと感じる心を育んでいます。 ④食事マナーを体得する場としています。	毎日実施。	食べる意欲を育むことに加えて、食べる機能の発達、偏食改善の一助にもなっていると考えます。	○
				豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						①和食中心のメニューを多くしています。 ②食材そのものの美味しさを知るようシンプル調理も取り入れています。 ③希望する園児が、16 時のおやつづくりに参加しています。 ④日常の給食に保護者が参加できる機会を設けています。 ⑤給食を委託する業者を検討するための試食会に保護者も参加できるようにしています。	左記を基本に実施。さまざまな味に親しめるよう多くの食材を使いバランスのとれたメニューを工夫している。	試食会は好評。	◎
		9	集会時の指導	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						①朝食をゆっくり食べてから登園するよう指導しています。 ②嫌いなものでも一口食べるよう指導しています。	朝の会や誕生日会など随時。	くり返し伝えることで理解が広がってきています。	○
		10	給食の試食と、給食に関する講演会	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●	●		●			保護者による給食の試食と、栄養士などによる講演会を開催しています。	年 1 回実施。	味・量などのアンケートを行い、結果を生かしています。	○

基本目標	基本方針	事業等	所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	a 幼少期における望ましい食習慣の形成	11 保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み	各こども園			●	●					①栄養素について学んでいます。 ②調理実習を体験しています。	給食づくりに関わったり菜園活動の収穫物によるクッキングなど年間を通じて随時実施。魚の解体見学後に給食で食べる等。	偏食の改善。食べ物の命を感じて大切にいただく気持ちが育まれました。共に経験・共感し仲間関係が深まり自信につながりました。	○
			豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						季節の果物や野菜について学んでいます（講師：生産地の農協関係者）。	毎年自園で野菜の栽培。	自分たちの育てた野菜などに興味をもち、野菜が苦手な子が食べられるようになりました。	○
		12 「食」に関する子育て講座	こども園（旧保育所）			●						こども園(旧保育所)給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を各園の技能職員が行っています。	地域の子育て家庭を対象に各園で 1～2 回開催。1 回 20～30 組が参加。未就園児の子どもとクッキングをしています。野菜を使ったおやつや昼食づくりを実施しました。	手作りおやつ、食の話などをします。実際のこども園給食を基に行うので理解されやすいと考えます。	○
		13 赤ちゃんサークル「ぴよぴよ」での離乳食講座	こども園（旧保育所）			●						こども園(旧保育所)給食をもとに、各園の技能職員が離乳食の講習を行っています。	地域の子育て家庭を対象に各所で 1～2 回開催。1 回 10～20 組が参加。	実際のこども園給食を基に行うので理解されやすいと考えます。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	b 少年・青年期における食の自立に向けた支援	1	市立障害者通所施設等での給食提供時の指導	障害福祉課					●	●	●		栄養バランスのとれた食事づくりを心がけると共に、保健センターからの歯科保健指導を参考に、個々人の障害に応じた食形態にも配慮しています。	毎日実施	利用者及び家族は毎日の給食を通じて栄養バランスのとれた食事や、食べやすくする工夫を実感することができると共に食事摂取量が改善されました。	○
		2	市立障害者通所施設等での給食提供時における情報提供	障害福祉課					●	●	●		専門職員が個々の利用者の障害に応じた食事介助工夫をすると共に、その内容を家族に情報提供することで、摂取する食材や食事を楽しむことができる場面の多様化を促しています。	毎日実施	家庭と施設の連携で個々の利用者の障害に応じたより良い対応を実施し、食を通じた健康づくり、楽しみづくりを実現しています。	○
		3	市立障害者通所施設等での給食の提供	障害福祉課					●	●	●		①おいしく、安全に、仲間と楽しく食事をする場を提供しています。 ②季節の行事食を提供しています。	毎日実施	仲間と共に季節感のある食事をとることで、心豊かな生活ができていと考えられます。	○
		4	市立障害者通所施設等での調理体験	障害福祉課					●	●	●		通所者が調理実習を体験しています。	給食材料や、収穫体験での収穫物などによるクッキングを随時実施	実際に調理に関わることで食に関心を持つことができました。	○
		5	子どもの居場所づくり文化クラブ「クッキング」わくわく講座(月例講座)「親子クッキング」「お菓子づくり」	児童生徒課 (少年文化館)				●		●	●		提案公募型委託事業として特定非営利活動法人北摂こども文化協会に事業委託。市内在住の児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りおやつや食事の話などの講習及び調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。また、「親子クッキング」では料理を通じて親子のコミュニケーションを図ることを目的として実施しています。	「クッキング」実施回数 27 回 延べ参加者数 179 人。 「親子クッキング」実施回数 9 回 延べ参加者数 127 人。 「お菓子づくり」実施回数 9 回 延べ参加者数 86 人。	料理に関する企画については、安定した市民ニーズがあり、多くの児童生徒がこれらの講座を介して「食」についての関心を高めることができました。また、親子クッキングでは、料理を通じて親子のコミュニケーションを図る場を提供することができ、参加者が増えました。	○
		6	一年生給食開始事前指導	学校給食課				●					新 1 年生の給食開始前に児童の給食への関心を高めるため、学校給食を担当する栄養士・調理員が訪問を行っている学校もあります。	小学校 37 校で実施	学校給食への理解を深めるため実施しています。	○
		7	給食の試食と、給食に関する講演会	学校給食課、各小学校 P T A				●		●			保護者による給食の試食と、栄養教諭などによる講演会を開催しています。	小学校 39 校で実施	食への関心を高めることと学校給食への理解を深めることを目的に、実施しています。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	b 少年・青年期における食の自立に向けた支援	8	学校給食週間	学校給食課				●					「全国学校給食週間」と定められた 1 月 24 日～30 日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れた特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝する気持ちや食の大切さを考える取組みを行っています。	全小学校 41 校で実施	学校給食の意義や役割について児童や教職員、保護者、地域住民の理解と関心を深めるため実施しています。	◎
		9	児童の社会見学の受け入れ	学校給食課				●					学校調理員、栄養教諭との交流を深め、給食ができるまでを見学することで関心を高めています。	小学校 5 校を受入れ	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施しています。	◎
		10	学校給食センター職員による学校訪問	学校給食課				●					学校給食センター職員が市内の公立小学校を訪問し、児童を対象に給食の話をしたり一緒に給食を食べたりすることで、交流を図っています。	訪問小学校数・・・34校（105クラス・3372名） 実施回数・・・37回	給食を作っている職員の思いを伝え、また子どもの給食への思いを聞くことで、給食の工夫・改善につながると考えます。また、食べ物への関心を高める機会となっているほか、お互いの交流を図る機会にもなっています。	◎
		11	小・中学校における指導体制の充実	学校教育課				●					順次配置されている栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、教職員を対象にした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組みます。	栄養教諭などを中心に食育を促進するとともに、教育センターと連携し教職員（栄養教諭・学校栄養職員含む）の研修会を実施する等、食育の重要性について教職員の意識を高め、理解を深めるように取り組んできました。	栄養教諭・学校栄養職員は、食育の推進に大変重要な役割を担っています。研修会の実施により、食育に関する市の現状や今日的課題についての認識を深めることができ、今後の指導体制の充実に向けて効果的であったと考えます。	○
		12	（仮称）豊中市新学校給食センターの整備（原田・服部学校給食センターの建替）	学校給食課				●					安心、安全なおいしい給食を提供し、また学校給食に関する情報を発信する機能を備えた（仮称）新第 2 学校給食センターの整備をめざす。			
		13	給食センター食育イベント	学校給食課（環境部）	*		●			●			幼年期の子どもと保護者に給食センターでの施設見学、また食育の取り組みでの学校給食の大切さと、環境部から食品ロス削減の意識を高めてもらう講座を行いました。	パワーポイントを使用し、給食センターでの工夫した食育の取り組みを説明。給食の試食。環境部から絵本の読み聞かせ等を行いました。	給食調理の現場見学や絵本の読み聞かせを通じて、給食を身近に感じてもらい、食生活の大切さを感じてもらうことができました。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	c 健康状態にあった食育の推進	1	グループホームからの栄養相談	障害福祉課					●	●	●	●	障害者が共同生活を行う住居での食生活に関する相談にのっています。	随時実施。	個々の民間事業所では、スタッフに管理栄養士を加えることは難しいので、市の専門職が支援しています。	○
		2	介護予防教室	高齢者支援課								●	二次予防対象者（要支援・要介護状態等となるおそれの高い、虚弱な状態にあると認められる 65 歳以上の者）を対象に「運動器の機能向上」「口腔機能向上」「認知症予防・支援」等の介護予防教室を開催しています。	いきいき元気教室（介護予防教室）で高齢期における低栄養改善の講話・食に関するアドバイス等を実施しています。 運動教室：13 クール 176 人 お口元気教室：5 クール 41 人 脳力アップ塾：7 クール 72 人	各教室にて、高齢者向けの低栄養予防の講話を実施し、口腔機能の維持を行ったり健やかな高齢期を過ごせるように食に関するアドバイスも実施し、総合的な介護予防に取り組んでいます。	△
		3	アレルギー講演会	健康増進課			●	●	●	●			専門医師がぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患について講話を行っています。また必要に応じ保健指導を行っています。	4 回開催、参加者数延 175 人	講話を行うことで、正しい知識の普及に努めました。	○
		4	両親教室	健康増進課		●							初妊婦とそのパートナーを対象に、沐浴実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等を行っています。隔月に 1 回。土曜日の午前・午後に実施しています。（大阪府助産師会に委託、男女共同参画推進センターと共催で実施）	12 回開催、参加者数延 1,051 人（527 組）	初産婦とそのパートナーを対象に妊娠・出産・育児の基礎知識を普及する場になっています。	◎
		5	妊婦教室「カンガルークラス」	健康増進課		●							栄養士による、妊娠期からの食生活・栄養についての講話。	実施回数 11 回、参加者数 103 人	妊娠期だけでなく生涯を通じた食生活について啓発する場として、実施することができました。	○
		6	マタニティークッキング	健康増進課		●							妊娠中の食事と離乳食についての簡単な調理実習と試食。	実施回数 6 回、参加者数 87 人	妊娠中の食事だけでなく、離乳食も作れる講座として好評でした。	○
		7	メタボ撃退お料理教室	健康増進課						●	●	●	メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた調理実習。	1 回 16 人	簡単に作れるメニューで好評でした。	○
		8	地区健康教室・介護教室（出前健康教室）	健康増進課						●	●	●	健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、作業療法士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演します。	健康教室 211 回 延 6,029 人	生活習慣病などをテーマとした健康教育を行いました。食に関する情報を発信する場として、広く活用しています。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	Ⅱ C 健康状態にあった食育の推進	9	「無理しないカラダづくり講座」	健康増進課						●	●	●	メタボリックシンドロームなど生活習慣病予防に焦点をあてた栄養・運動についての気軽に楽しい体験学習を実施しています。（特定保健指導の場としても活用）	6 回 延 107 人	メタボリックシンドロームに焦点を当てた講座で、運動体験や管理栄養士による食事診断など内容の変更を行いました。	○
		10	生活習慣改善講座（面接型）	健康増進課						●	●	●	血液検査などの検査データと、生活習慣調査票から個人の課題を抽出し、各人にあった目標を決め、実践できるよう支援する講座を開催しています。支援期間は3か月以上です。	面接 87 回 延 116 人 血液検査 16 人	個別の指導により、生活習慣病の改善・予防を行いました。特定保健指導の場にもなっています。参加者自らが行動変容できるように支援しました。なお改善結果の評価のため血液検査を実施しています。	◎
		11	創造活動（適応指導教室）プログラム「クッキング」	児童生徒課 （少年文化館）				●					不登校児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使つての調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	庄内館は第 1・3・5 水曜 千里館は第 1・3 金曜に実施	不登校状態の児童生徒が文化館に登館し、「クッキング」というツールを介して人間関係を繋いでいます。また、「食」について考えることから自分自身の生活を振り返る機会にもなっています。	○
		12	寄り添い型学習・生活支援事業 生活自立支援プログラム「クッキング」	児童生徒課 （少年文化館）				●	●				不登校状況や、ひきこもり状況にある中 3～高校年齢相当の若者を対象に、専門講師が手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使つての調理など、食を営む基礎を育てています。	平成 27 年度から「生活困窮者自立支援法」の趣旨に基づく、経済的等の困難を抱える中学生に対しての自学自習力をはぐくむ場所の提供に変更。	-	-
		13	公民分館活動への支援	中央公民館、 蛸池公民館、 庄内公民館、 千里公民館		●	●	●	●	●	●	●	●	公民分館による春秋講座運営に際して、情報提供や指導助言を行っています。	【中豊島公民分館】 紅茶と手作りスコーン講座（参加者 11 人） 【東泉丘公民分館】 ネパール料理を作ろう（参加者 11 人） 台湾料理を作ろう（参加者 16 人） 【北緑丘公民分館】 ベトナムのお話と家庭料理（参加者 ● 人） ※参加者数については報告待ちのため、 校正にて再入力いたします。	今年度は食についての講座数が増え、昨年度以上に市民が食について学ぶ機会を増やすことができた。

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	Ⅱ 健康状態にあった食育の推進	14	千里公民館 健康づくり推進事業	千里公民館					●	●	●	●	老化を防止する運動や、栄養バランスがとれる食事について学ぶ講座を開催し、地域住民の健康増進を図ります。	H27 は該当講座の実施なし。		△
		15	糖尿病教室	市立豊中病院栄養管理部				●	●	●	●	●	糖尿病教室の 7 回シリーズの内 2 回で「糖尿病食事療法：基礎編」「糖尿病食事療法：応用編」を開催しています。	開催回数 48 回。参加人数 300 名	今後も継続して最新情報を取り入れた教室開催を行います。	○
		16	慢性腎臓病教室	市立豊中病院栄養管理部				●	●	●	●	●	慢性腎臓病教室の 4 回シリーズの内 2 回で「慢性腎臓病の食事療法の実際：総論」「慢性腎臓病の食事療法の実際：各論」を開催しています。	開催回数 6 回。参加人数 62 名	患者アンケートを実施し毎回おおむね良好。今年度は医師の講義時間を延長し、より充実した教室開催となりました。	○
		17	心臓病教室	市立豊中病院栄養管理部					●	●	●	●	心臓病教室の 2 回シリーズの内 1 回で「心臓病の食事について」を開催しています。	開催回数 12 回 参加人数 89 人	管理栄養士からは食事の講義を、そして他職種からも療養に必要な講義をうけていただくことができるので、2 回で患者さんの療養意識を高める機会をつくることができました。	○
		18	とよなか倶楽部（糖尿病患者の会）	市立豊中病院栄養管理部				●	●	●	●	●	糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めています。	開催回数 1 回 参加人数 19 人	多職種で患者さんに調理講習を行い、患者さん同士の交流も深め、療養のモチベーション UP の場となっています。今年度は「きのこたっぷりメニュー」が簡単でおいしく患者さんに大好評でした。	○
		19	とよなががんサロン	がん相談支援センター				●	●	●	●	●	がん患者さんとそのご家族を対象にミニレクチャー「がんを予防する食事・進行を抑える食事とは」と談話会を開催しました。	栄養士参加 なし 今後の参加予定なく、食育事業としては削除	26 年度で終了しました。	—

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	c 健康状態にあった食育の推進	20	糖尿病透析予防管理指導	市立豊中病院栄養管理部					●	●	●	●	糖尿病腎症の患者さんに対し、透析導入を予防するために医師・看護師と共にチーム医療で患者さんの指導にあたっています。	指導人数 22 名	月 1 回、多職種連携で透析予防のための重点的な指導行っており、患者さんが必要な治療を 1 日で凝縮して受けることができ、療養意識を高める機会をつくることができました。	○
		21	内臓脂肪測定会	健康増進課						●	●	●	内臓脂肪を実際に測定し保健師による結果説明会を行うことでメタボリックシンドロームの予防・解消、生活習慣病の改善につなげています。(特定保健指導対象者のみ実施)	23 回 延 398 人	測定会場にフードモデルの展示と結果説明の内容を修正。27 年度は休日開催(3 日)を行いました。	○
		22	難病患者療養生活支援	保健予防課		●	●	●	●	●	●	●	難病患者の在宅療養生活の質の向上のために保健師や栄養士等が相談に応じています。	訪問、面接、電話で相談に応じています。 相談件数 延 4,526 件	難病法の施行(平成 27 年 1 月 1 日)に伴い対象者数が増加したことにより、患者数が増加し、医療費助成の申請手続きの機会等を利用した相談件数が増加しました。今後もよりよい相談体制づくりに取り組みます。	○
	d 調理技術や食に関する知識の習得	1	出前講座	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市民(団体)や学校等が主催する、食育や生活習慣病の予防(食事編)に関する講座に、講師(市職員)を派遣しています。申込制。	年間講座実施数 156 件、参加者数 4,853 人 うち食育関係テーマ 3 件、参加者数 105 人	継続して市民の参加を呼び掛けます。	○
		2	地域への食育推進	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	食育への理解が進むよう、食育情報の提供や講師紹介、講師派遣を行っています。	食育推進協議会や食育推進計画連絡会議において積極的に意見交換を行うことで、食育の取り組みに必要な情報を確認し提供しました。	関係各課や各団体などが食育に取り組みやしやすい環境づくりに役立つと考えています。	○
		3	出前教室	上下水道局経営企画課				●					小学 4 年生及びその保護者を対象に、水道水ができるまでの過程や、各家庭に水道水が配られる仕組みなどを、簡単な実験を行いながら説明します。食の原点となる「水」への関心を深め、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらうことがねらいです。	実施校数 40 校 参加者数 児童・・・3,407 人 保護者・・・87 人	食の原点である「水」への関心を持ち、水道水が安心安全であることを、児童保護者に理解してもらうことができました。市内全校で実施できるよう今後取り組みんでいきます。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活を実現しよう	d 調理技術や食に関する知識の習得	4	中央公民館 食育推進事業	中央公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	年間 1 回 ①おやこでクッキング 野菜たっぷりライスバーガー（参加者 27 人）	今年度も親子で参加できる講座を実施した。今回の講座でアレルギーをお持ちのお子さんがおられ、講座を企画する際のアレルギー対応の必要性を感じた。	○
		5	蛭池公民館 食育推進事業	蛭池公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	年間 7 回 ①アンコールワットの国 カンボジアを食べよう（参加者 14 人） ②女子サッカーワールドカップ開催国「カナダ」を食べよう（参加者 14 人） ③子ども料理教室「パン生地から作るホットドッグ」（参加者 20 人） ④子ども料理教室「チョコレート作りとチョコの話」（参加者 14 人） ⑤手作りキッシュで骨粗しょう症予防！（参加者 20 人） ⑥「南米のバリとも称されるアルゼンチンを食べよう」（参加者 17 人） ⑦子ども料理教室「ボン・デ・ケージュ作りとブラジルのお話」（参加者 20 人）	料理（食育）に関する講座では、それぞれのテーマにおいて関心のある参加者が多かった。いずれの講座も調理実習だけではなく、健康についての話や当該国の成り立ちや歴史についても学ぶ機会としている。また、実習を通して参加者どうしの交流が深まっているようである。	○
		6	庄内公民館 食育推進事業	庄内公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	年間 8 回 ①自分で作ろう昼ご飯（42 人） ②夏休み自由研究に。三食丼とおひたしを作ろう（12 人） ③親子で楽しもうパンとピザ作り（17 人） ④上手に使おう塩こうじ（14 人） ⑤みんなでエコクッキング調理実習と食育の話（5 人）	地域の子どもの食の現状を踏まえ、食に対する意識や、食を通じた体作りについて、親子で、または子ども自身で考えてもらう機会を提供する場として一定の目標は達成できたと思われる。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	d 調理技術や食に関する知識の習得	7	千里公民館 食育推進事業	千里公民館			●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	年間 1 回 ①千里で世界の料理を楽しもう（参加者 22 人）	小学 1 年生から 4 年生の参加者は講師や参加者同志の交流を楽しみながら調理に取り組んでいた。アンケートでは工程がよかった、と好評で食への意識を高める機会になったと思われる。	○
		8	男の生活力養成講座	人権政策課							●	●	（指定管理者（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理） 父親と子どもの料理教室を開催しています。親子と一緒に料理をつくることで料理の楽しみと健康への関心を深め、男性の育児参加、家事参加を呼びかけます。	父親の育児参加を支援する「両親教室」を健康増進課と共催で実施。 ・実施回数：6 回 ・参加者：1054 人（男性 527 人） すてっぴゼミナールで講座「男が介護するということ」を実施。 ・実施回数：1 回 ・参加者：36 人（男性 20 人）	男性、父子を対象にした料理教室、男性を対象にした育児、介護参加をテーマに講座実施を検討します。	◎
		9	男の料理教室	人権政策課			●			●	●	●	（指定管理者（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理） 父親と子どもの料理教室を開催しています。親子と一緒に料理をつくることで料理の楽しみと健康への関心を深め、男性の育児参加、家事参加を呼びかけます。	検討はしましたが実施に至りませんでした。	男性、父子を対象にした、料理教室をテーマに講座実施を検討します。	△
		10	男性の料理教室	豊中市社会福祉協議会						●	●	●	（CSW 配置事業（市補助事業）の 1 つとして実施） 男性の食育や自立を目的に実施しています。	2 回／参加者数 3 2 人	継続実施	○
		11	食育に関する講習会	老人クラブ連合会								●	（団体自主事業） 講師を招いて講習会を開催し、食育に関して学ぶ機会をつくっています。	実施していない	連合会事業として、検討重ね実施居ていきたい	○

基本目標	基本方針	事業等	所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	d 調理技術や食に関する知識の習得	12 料理教室	老人クラブ 連合会								●	(団体自主事業) 高齢者対象の料理教室を老人会各地区で実施しています。	単位老人クラブにて実施している	今後は拡充していきたい	○
		13 各種の食に関する講座	豊中地域活動栄養士会 トゥデイ			●	●	●	●	●	●	様々な年代を対象にした食に関する講座を通して、健康づくりの支援と食に関する情報提供を行い、食育を推進しています。	エコクッキング 親子クッキング 老人対象料理指導 市民講座 地域の会食会	幅広い年齢層への食育の推進ができました。本当はもっと皆様の役に立ちたいと思いますが、少人数の会員のためなかなか思うように活動出来ないのが実情です。	○
		14 料理教室	くらし支援課						●	●	●	とよなか消費者協会に委託し、豊中商工会議所・豊中市小売商業団体連合会事務局の協力を得て、料理講習会を開催しています。	28年3月10日(木)「子どもが喜ぶ行事料理」で料理講習会を行いました。	市民20名スタッフ7名でカレーピラフ、ミネストローネ、照り焼きチキンマレード風味、トライフル、ラッシーを作りました。	○
		15 連合豊中地区メーデー リサイクルバザー	連合豊中地区協議会 豊中市職員組合			●						連合豊中地区メーデー主催のイベントにおいて、構成組織の豊中市職員組合が公立保育所で提供しているおやつの実演・提供を実施。併せて提供おやつを含めて数種類のそのレシピを記載した印刷物の配布。	4月29日(水・祝)豊島公園多目的広場で実施。おやつ(おからドーナツ)を約250食提供。印刷物は、60部を配布。	多くの子供さんを連れた地域住民の参加があり、公立保育所で実際に職員が調理・提供している安全なおやつとして好評でした。保護者向けには、家庭でも作れるようにレシピを配布するとともに調理方法も伝えました。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、 バランスのとれた食生活を実現しよう	e 適切な食を提供するための環境整備	1	特定給食講演会	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	大阪府域の特定給食施設およびそれに準ずる施設のスタッフ（管理栄養士・栄養士・調理師等の給食関係者）や、大阪府栄養士会会員等約 1000 名を対象に、年 2 回、府内の市町村等が合同で講演会を実施しています。 主催：大阪府・大阪市・堺市・豊中市・高槻市・東大阪市・大阪府立大学 21 世紀化学研究機構「公衆栄養実践研究センター」・大阪府栄養士会 会場：大阪府立大学学術情報センターU ホール白鷺（大ホール）	◆特定給食講演会Ⅰ 平成 27 年 12 月 8 日（火）開催。豊中市からは 26 施設 27 名が参加しました。 ・講演：「名ばかり形だけ！の NST にしないために～病院での NST 成功例～」（福井県立病院 内科・NST 医師 栗山とよこ氏） ・事例：「患者によりそう NST であるために」（南大阪病院 栄養科 課長 金医師智津子氏）、「介護老人保健施設ノーブル楽音寺 管理栄養士 松原朋代氏」 ◆特定給食講演会Ⅱ 平成 27 年 12 月 14 日（月）開催。豊中市からは 24 施設 25 人が参加しました。 ・講演：「利用者に応じた望ましい給食を提供するために求められること」（大阪市立大学大学院 生活科学研究所 食・健康科学講座公衆栄養学 教授 由田克士氏）、「食物アレルギーの食事対応について」((医)耳原総合病院 栄養科 管理栄養士染原剛氏)	特定給食施設における給食は、給食利用者の健康づくりに大きく影響を及ぼすことから、適正な給食の提供と栄養管理が行えるよう給食担当者の資質の向上等を図ることは重要と考えます。	○
		2	特定給食施設研修会	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	●	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ（施設管理者・管理栄養士/栄養士・調理師等）を対象に、年 2 回程度研修会を実施しています。 ◆食中毒予防に関する研修会 平成 27 年 5 月 12 日（火） 講演「食中毒予防」（市保健所衛生管理課 食品衛生係 食品衛生監視員） 参加：84 施設 108 人 ◆乳幼児対象施設研修会 「基礎から学ぶ栄養管理」 講義・演習：大手前栄養学院 小松祥子氏 ①平成 27 年 10 月 26 日（月） ②平成 27 年 11 月 20 日（金）	食中毒予防に関する研修会は、給食施設における安心安全な給食の提供に役立てていただいています。 乳幼児対象施設研修会は、私立幼稚園連合会、民間保育園連合会、認定こども園協議会との共催で行いました。要望の多かった栄養管理の基礎をテーマに実施し、情報交換も含め大変充実したものとなりました。 今後も対象者のニーズに合った研修会を開催していきます。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バ ランスのとれた食生活 を実現しよう	e 適切な食を提供するた めの環境整備	3	給食施設への食育推進支援	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	食育に関する情報を提供するなどして給食施設における食育推進を支援しています。	特定給食施設等に対するメール情報配信「給食通信」などで食育に関する情報を提供しました。 特定給食施設の喫食者に対する健康づくりの取り組みに対する支援を行いました。	特定多人数に対して継続的に食事を提供する施設へ食育情報を提供することで、効率的な食育推進を行うことができます。	◎
		4	健康づくり推進委員会への支援	健康増進課		●	●	●	●	●	●	●	活動への交付金の支払、講師派遣、活動情報の提供などを行っています。	6 校区にて食育に関する健康教室を実施。 また各イベントへの出展の際、健康づくりの視点より食に関するチラシの配布やパネル掲示を行いました。 また、健康教室なども地域で開催。	地域への啓発にあたって有効であり、また今後の健康づくりの観点から食育の啓発を実施していけるよう支援します。	○
		5	子育てサークルの育成	こども相談課 子育て支援センター			●						「ほっぺクラブ」は地域の人材を活用し子育てボランティアの育成・支援を行い、その力を地域に広げています。	オリーブの会 12 回 オリーブの会編集による『親子で簡単クッキング』（レシピ集）発行 8,000 部 えくぼの会 12 回	これまでのオリーブの会の活動（レシピを冊子にまとめ、市民へ食育への関心を広めるきっかけになりました。	○
		6	子育て・子育てネットワークづくり	こども相談課 子育て支援センター			●						地域子育て支援センター、地域支援保育士が中心になってコミュニティソーシャルワーカーとともに各小学校区の地域活動を支援するために、関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。	全小学校区で開催しました。	ネットワーク作りの会議が積み重なっているため、子育て支援の課題が各関係機関の中で共有され、支援強化につながっています。	○
		7	公民館登録グループ活動支援	中央公民館、 蛭池公民館、 庄内公民館、 千里公民館				●	●	●	●	●	①料理グループなどに活動場所の確保を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、グループ体験講習会への支援および公民館講座への講師登用を行っています。	料理活動に取り組む登録グループが行う実践活動に対する支援を行いました。	登録グループの料理活動の場を提供することで、市民活動の支援を行うことができた。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	e 適切な食を提供するための環境整備	8	技能員研究会	こども事業課			●						こども園(旧保育所)・あゆみ学園・しいの実学園の技能職員と担当こども園長及びこども事業課栄養士と障害福祉課栄養士で、給食作りを中心に食育と給食の衛生を考えます。教育・保育における子どもの安全と環境整備を考え、環境保全・食育に関わる研究の推進をはかっています。	「食育」「環境整備」「地域支援」をテーマとし、3つのグループに分かれる。こども園・施設ごとに年間計画をたて実施後、現状の把握、反省、新たな課題を4期に分けて活動し、その都度集約して記録しています。	それぞれのこども園・施設では教育・保育の中で食育・環境整備・地域支援をどのように関わっているか情報共有することができました。	◎
		9	職員への教育	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						職員が終礼時に、給食献立に関連する栄養・文化・歴史等について調べ発表しています。	園内研修や会議などで栽培の方法や調理について情報交換をしています。	継続実施	○
		10	男女共同参画推進活動への支援	人権政策課			●		●	●	●	●	(指定管理者(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	すてっぷ登録団体・とよなか粋遊会の「男の料理教室」を支援しました。料理をつくりながらリタイア後の男性の家事参加を考え、交流しました。 ・参加回数：1回	登録団体実施事業、登録団体助成金事業、協賛事業、後援事業で、男女共同参画につながる食育講座を実施する市民団体を支援します。	○
		11	豊中市学校歯科医会研修会	豊中市学校歯科医会			●	●						幼・少年期のさらなる健康増進に寄与するため、学校歯科医師が学校保健活動でより良い指導・助言を行うのに必要な研修を行っている。	学校歯科医を講師として招き、学校歯科における不正咬合(歯列・咬合異常)をテーマに研修会を開催した。	校医以外に教育委員会職員にも受講頂き、熱心な質疑応答が行われた。今後も引き続き実施していきたい。

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	a 交流を深める場や食事をする機会の提供	1	お菓子づくり教室	豊中人権まちづくりセンター				●					食育に関し季節にあった食材を使いながらお菓子をつくり、調理の楽しみを体験しています。また、グループの参加者がお互いに協力しあって作業をすることでつながりづくりのきっかけとしています。	からだによいもの、季節のものを意識して、材料を用意し、お菓子を作りました。また、講師には、素材について解説してもらい、栄養についても知る機会になりました。 実施回数 8 回 参加者数 143 人	からだによいお菓子を意識し、素材の栄養や旬のものなどを大切にすすめました。	○
		2	ささえあい参加型食事会	豊中人権まちづくりセンター							●	●	食事環境等に課題のあると思われる高齢者を対象に、毎月第二・第四金曜日に定期的な「会食会」として行っています。センター内にある調理室で作った昼食を食べながら話をする中で、高齢者の健康管理や悩み相談にもつなげています。	実施回数 20 回 参加者数 811 人	食事の提供だけではなく、外出して同年代の人々と会食するため、とじこもり防止や安否確認にもつながり、また、生活相談事業にもつなげています。	○
		3	小学生料理教室	螢池人権まちづくりセンター				●					自らの体を作る食事に興味や関心を持ち、自ら関わりを持てるよう、自分で行える調理の楽しみを体験しています。異年齢で協力して行うことで交流を深めています。	実施回数：16 回 参加者数：520 人	経験を重ねる中で次に作りたいものを自分たちで考えたり、異年齢の中で教えたり教わったりする姿も増えています。	○
		4	男女共同参画推進、女性の自立支援	人権政策課						●	●		（指定管理者（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理） 生きづらさ、働きづらさを感じている人を対象に、料理をつくる共同作業をおして達成感と自信を養い、交流を図ります。	検討はしましたが実施に至りませんでした。	シングルマザーと子どもを対象にした料理づくりの講座を検討します。	◎
		5	保育、教育の中で交流体験機会の提供	各こども園、こども事業課			●	●					①野菜や稲の栽培、収穫物による調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。 ②もちつき等の季節行事を催しています。 ③保護者に、実施状況を報告したり、参加・協力の場を設けることで、家庭への情報発信及び食文化の伝達や交流を行っています。	随時実施	食に関わる様々な体験を共有することで子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人など人と人がつながっていける子どもの姿から親子の会話も食に関する話題が多くなり家庭においても「食」への理解が深まりました。	○
		6	世代間交流	豊中市社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	（市補助事業） 世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。	38 校区 147 回／37,745 人	継続実施	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	a 交流を深める場や食事をする機会の提供	7	ひとり暮らし高齢者の会食会	豊中市社会福祉協議会									● (団体自主事業) みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間作りを行っています。	38 校区 347 回 11,629 人	継続実施	○
		8	ミニデイサービス	豊中市社会福祉協議会									● (市補助事業) 虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しています。食育に関する相談も行っています。	6 校区 131 回 2,297 人	継続実施	○
		9	小学校との交流	老人クラブ連合会				●					● (団体自主事業) 蛍池小学校花壇に野菜や花を植えて学習の教材として提供しています。じゃがいも、さつまいも堀りを児童の皆様に使っていただいています。毎年 8 月には「終戦記念日」前後に当時をしのいで「すいとん」を作り、500 人分を用意します。中身のなす、じゅうはちささげ、ねぎ等は学校花壇の畑で出来た野菜を使用します。	実施していない	当面は事情により中止。意義のある事業なので継続していきたい。	○
	b 楽しい食事の促進	1	地域教育協議会 (すこやかネット)	生涯学習課		●	●	●	●	●	●	●	(市補助事業) 市内全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。	各校区の事業に、のべ 27,663 人の参加がありました。	フェスタで食べ物の模擬店を出店した校区もありました。	○
		2	地域子ども教室	生涯学習課				●			●	●	●	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週 1 回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。放課後子ども総合プランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。	のべ 2,155 回実施、95,842 人の子どもの参加がありました。	子どもたちが地域の大人から、料理やもちつきなどを学ぶ機会を持った校区もありました。

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	b 楽しい食事の促進	3	青少年野外活動事業	生涯学習課				●	●					平成 27 年度より、下欄の青少年自然の家主催事業となりました。		—
		4	青少年自然の家主催事業（宿泊事業）	生涯学習課			●	●	●	●	●	●	市内の青少年を対象に、自然とのふれあい、人とのふれあいを通じて、自主性、協調性、創造性を養い、友情を培う場とします。（指定管理者に委託実施）	主に小学生や、家族グループを対象とした野外活動の中で、薪や炭を使った野外炊事や、季節感を持ったメニューの提供に取り組みました。 対象別・実施内容（参加人数） ○少年期 ジュニアサマーキャンプ（26 人）、サイエンスキャンプ（62 人）、キャンプスクール（80 人）、わっぱるキッズ（夏 50 人 冬 66 人）、わっぱる探検隊、里山のクリスマス（89 人） ○家族・グループ等 里山フェスタ（春 280 人、冬 290 人）、風天クラブ（91 人）、星空まつり（109 人）、わっぱるの森をつくろう（73 人） ○青年期 ユースチャレンジキャンプ（12 人）	■夏にアイスクリームの手作り、冬にたき火で焼いもなど、季節感のクッキングプログラムを実施。 また、こんにゃく作りやみそ作りなど、作る過程楽しむプログラムを実施しました。 ■施設の畑では「サツマイモ」の栽培を行い、定期的な畑の世話をよびかけ初夏の苗付けから秋の収穫までの過程で、作物を育てる苦労の多さを知ってもらうことができました。	○
		5	三世代交流事業	生涯学習課			●	●	●	●	●	●	委託先である NPO 法人シニア自然大学の講師の指導のもと、野外活動施設で料理や工作を行いながら、異世代の交流を促進する。	参加人数 ①春の野原は楽しいな（35） ②初夏の里山で昆虫と遊ぼう（38） ③みんなで楽しく川遊び（29） ④秋空のもとでみんなで遊ぼう（28）	野草を使った料理などを多世代で行うことで、世代を超えた食育が行われている。	—

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう	b 楽しい食事の促進	6	体験型食育推進事業 「わくわく食育プロジェクト」	学校教育課			●	●					わくわく食育プロジェクト 「園小連携親子料理教室」 「小学生親子料理教室」 「中学生食育教室」の開催	わくわく食育プロジェクト 「小学生親子料理教室」6回 開催	専門家講師等による親子料理教室は大変好評でした。食に関する情報を正しく理解し、親子でおいしく楽しく調理・食事をすることで食に関する関心意欲を高めることにつながりました。	○
	c 食を通じた地域活性化の促進	1	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発	保健医療課		●	●	●	●	●	●	●	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。	広報とよなかに「うちのお店も健康づくり応援団の店」及び「ヘルシーメニューコンテスト」募集記事を掲載することなどにより普及を呼びかけました。	今後も継続して市内の飲食店に啓発を行っています。	○
Ⅳ 食の文化を大切にし、食の楽しさを伝える	a 体験・機会の充実	1	施設見学	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市民団体等を対象に、学校給食センターや緑と食品のリサイクルプラザなどの見学にご案内しています。	年間見学実施回数 5 回、参加者数 72 人 うち食育関係施設（給食センター）0 回	継続して市民の参加を呼び掛けます。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅳ 食べるもの、食 べることを大切にしよう	a 体験・機 会の充 実	2	収穫体験	障害福祉課						●	●	●	市立障害者通所施設等の利用者が、野菜の収穫を体験します。	たちばな園の園庭にて、野菜や果物の栽培や収穫を行いました。	育てる作物の種類を決めるところから、利用者同士の話し合いで決めました。食を通じたコミュニケーションをはかる大切な機会と考えます。	○
		3	菜園活動、調理体験	あゆみ学園、しいの学園			●						①園内にある畑で野菜等を栽培、収穫しています。 ②園でとれた作物や、給食の材料等を使って調理体験をしています。	随時実施。	食材が料理になっていく過程を体験すること自体が楽しい食経験であり、食への興味につながっていると思われます。また、調理体験後に食べられる食材が増えることでの姿がみられました。	○
		4	食育スタディーデー みんなで収穫祭	健康増進課				●		●	●	(NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 協力) 小学生とその保護者を対象に環境学習・収穫体験・共食体験などを行います。	1 回 54 人	スタッフの配置の工夫等でより効果的に事業が行えました。参加者にも好評でした。	○	
		5	市民農園	産業振興課					●	●	●	●	①募集から斡旋、契約事務 ②苦情処理 ③栽培講習会 ④運営費助成事務等 ①～④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。	1 区画約 15㎡を 23 か月利用 27 農園 1, 136 区画	市街地の中での農園はいろいろなトラブルがあり、市が時間を取られることが多くなっていますが、市民が余暇を楽しむ場として定着しています。	○
		6	農業祭	産業振興課		●	●	●	●	●	●	●	年 1 回 11 月に、農協等と実行委員会形式で実施しています。市内で栽培された野菜や観葉植物等の即売、つくたてあんこもちの配布等の実施による都市農業・食育の啓発を行っています。	11 月 21 日（土） 豊島公園多目的広場 来場者数 4, 000 人	市民が豊中に農業があることを再認識する場となっています。	○
		7	給食センターの見学の受入れ （市民向け）	学校給食課						●	●	●	給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。	17 団体（249 名）の方が参加してくれました。	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施しています。	○
		8	保育、教育の中で交流体験機 会の提供	豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園、 豊中市民間保育園連 合会加盟保育園			●						○農家と交流しています。 ○魚のさばき方を見学をしています。 ○年齢に合った調理体験・収穫体験を行っています。 ○季節行事：らっきょ漬・栗拾い・干柿づくり・収穫祭などを行っています。 ○茶道体験をしています。	同左。	栽培し、生長の過程を知ることができ、興味をもって調理体験するなど食への関心が高まっています。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅳ 食べるもの、食 べることを大切にしよう	a 体験・機 会の充 実	9	自然と親しむ事業	豊中市社会福祉協 議会		●	●	●	●	●	●	●	(小地域ネットワーク事業(市補助事業)の1つとして実施) いも掘り等の土に親しむ事業を校区の実情に合わせて実施しています。	8 校区		
		10	自然と親しむ事業	豊中市私立幼稚園連 合会		●	●	●	●	●	●	●	いも掘り等の土に親しむ事業を地域の実情に合わせて実施しています。	同左。	野菜の生長や、収穫のよろこびを体感できます。	○
	b 環境教育・環 境学習の促 進	1	環境交流センターにおける情 報提供等業務	環境政策課		●	●	●	●	●	●	●	3R 実践市民講座	実施回数：2 回 参加人数：27 人	家庭でのごみ減量の一環として、若い家族世帯を主なターゲットとし、楽しく参加・体験しながら、3Rの推進や、グリーンコンシューマー、食品ロス・ゼロに向けた取り組み(とよなか食べ切り運動)を学んでいただきました。	○
		2	とよなか市民環境展	NPO 法人とよなか市 民環境会議アジェン ダ 21		●	●	●	●	●	●	●	豊中市(環境政策課)・豊中市教育委員会・とよなか市民環境会議・公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団と共催。市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場。概ね、11月第3もしくは第4週に実施しています。	来場者数：2,974 人	市民団体、事業者、行政等の日頃の環境活動・事業の成果を披露、発信することを通じて、市民のみなさんに理解・共感していただいています。	○
		3	環境学習の推進	環境政策課		●	●	●	●	●	●	●	事業者と連携し、小学校へ環境学習に関する広報活動を行いました。	6 校 16 クラス 534 名	「食べ物やエネルギーを大切に する」「水を汚さない」「ご みを減らす」などについて考え ながら、買い物・調理・食事・ 片づけなど、食に関わる一連の 行動についてこどもたちが実 践を通して自ら体感して学ん でもらうことができました。	○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性	
Ⅳ 食 べ る も の 、 食 べ る こ と を 大 切 に し よ う	b 環 境 教 育 ・ 環 境 学 習 の 促 進	4	市民による環境活動への支援 （豊中アジェンダ 21 の普及・促進）	環境政策課		●	●	●	●	●	●	●	「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取組む環境活動の促進を支援します。また、「豊中アジェンダ 21」の推進組織である「NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。	とよなか市民環境会議総会の開催 参加者数：１４２人 とよなかエコ市民賞表彰式の開催 参加者数：１０７人	「とよなか市民環境会議」の事務局として、総会の開催や環境活動の表彰を行ってきました。また、「豊中アジェンダ 21」の推進組織である「NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21」の活動の支援を行いました。	○	
		5	国連・持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）の１０年の取組み	環境政策課		●	●	●	●	●	●	●	●	ＥＳＤリソースセンターＷＥＢにより、豊中市内の、食育に寄与する店舗などを紹介しています。	掲載内容を随時更新。	市民のみなさんに、食への関心を高めていただくとともに、食材、食事を大切にすることを学んでいただいています。	△
		6	生ごみ・剪定枝堆肥の配布・頒布	公園みどり推進課、 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか		●	●	●	●	●	●	●	●	市が、学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに、公園や街路樹から出る剪定枝をチップ化したものを混合し、堆肥化しています。できあがった堆肥「とよっぴー」は、アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよながが土壌改良材として、学校・こども園、市内等の農家のほか、各種イベントなどで配布・頒布しています。	約 89.5 トン	市の学校給食センターから発生する生ごみを堆肥化することで、持続的な循環型社会づくりに向けた資源循環の啓発にもつながっています。	○
		7	エコクッキング講座	減量推進課				●	●	●	●	●	●	市民の皆さんの「もったいない」の意識を高め、食品ロス・ゼロに向けた取り組みを推進します。具体的には、食材をできる限り全て利用して調理するエコクッキング講座を開催する等で情報提供を行っています。	調理実習として夏休みに「親子でわくわくエコクッキング講座」を２回実施。参加者計 21 組 46 人。 「豊中エコレシピコンテスト」開催。応募数 111 件。7 作品にて最終審査（実食審査）を実施し各賞決定。 「豊中食品ロス・ゼロフォーラム」実施。参加者 87 人。エコレシピコンテスト表彰式と講演等。 地産地消としてエコクッキングの食材やエコレシピコンテスト最終審査参加賞に豊中市内産野菜を使用。	これまでは 1 回開催につき、20 名程度が参加する「エコクッキング講座」とその実施内容についてホームページ等での情報提供に留まっていたましたが、「豊中エコレシピコンテスト」では広く市民からアイデアを募集したことで、食品ロスへの取組みについて大々的に周知することができました。 平成 28 年度は豊中エコレシピコンテストグランプリメニューのレシピを活用しエコクッキング講座を行う予定です。	◎

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性	
Ⅳ 食 べ る も の 、 食 べ る こ と を 大 切 に し よ う	b 環 境 教 育 ・ 環 境 学 習 の 促 進	8	絵本「きょうのきゅうしょく な～にかな」の活用	減量推進課		●	●	●					小学校給食の食べ残しを減らし、食べ物を大切にしたいという願いをこめて職員が作成しました。 なぜ食べ物を残すとダメなのかを、身近な野菜や子どもたちを登場させることで、感情移入しやすく、言葉は全てひらがなを使用しているので理解しやすい内容になっています。	6000 冊増刷。 市内こども園・幼稚園等の年長児に約 4000 冊配布。 市内図書館、小学校・中学校図書館にも配布。 その他イベントにおいても配布。	先生、子ども、職員のつながりを大切に市内の全こども園・幼稚園の年長児を対象として、給食の大切さを知ってもらうよう、絵本を用いて環境学習を行っています。	◎	
		9	とよなか食品ロス・ゼロハンドブックの活用	減量推進課		●	●	●	●	●	●	●	●	市民の「もったいない」の意識を高め、食品ロスを削減するために、食べ残しや手つかずで捨てられる食品等の食品ロス実態や食の大切さを情報提供するとともに、ごみをなるべく出さない調理法や買い物のしかた等食品ロスの削減に関する実践事例・アイデアについて分かりやすく解説し、実践行動に移していただくために作成しました。	6000 冊増刷。 市内こども園・幼稚園等の年長児の保護者に約 4000 冊配布。 市内図書館、小学校・中学校図書館にも配布。 その他イベントにおいても配布。市内保育所（園）・幼稚園年長児保護者に配布。エコクッキング、ごみ減量フォーラム参加者等へ配布。	配布する方法を工夫することで、食品ロスについてアピールできました。 平成 28 年度は、内容の見直しを図り、一層充実した情報を掲載して発行する予定です。	◎
		10	保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	各こども園、小学校			●	●						教育・保育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	季節折々の野菜や果物（いちご、さつまいも等）や稲の栽培を年間計画して実施。収穫したものを給食の食材やクッキングに使用。 取り組みたい課題ですが具体的にはできていません。落ち葉を畑に肥料として使用。とよびーを使用して、給食食材用の野菜を育て収穫して使用。	堆肥作り菜園活動、収穫、クッキングと一連の体験をすることで「食を営む力」を育むことに努めています。 園の畑なので成長の過程を身近に感じることができました。 子ども達と落ち葉を拾うことは良いと考えます。	○
豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園					●	●						保育・教育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	同左。絵本なども活用。	継続実施	○		

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
Ⅳ 食 べ る も の 、 食 べ る こ と を 大 切 に し よ う	b 環 境 教 育 ・ 環 境 学 習 の 促 進	11	とよっぴー(生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	こども事業課、各こども園(旧保育所)			●	●					とよっぴー(学校給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	今年度は、市内農産物の使用がありませんでした。	地産地消のとりくみが大切なことはこども園全体に浸透できています。	○
			学校給食課			●	●					とよっぴー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	全小学校4 1 校の給食で使用	安心・安全な食の提供と地産地消の取り組みとして有効です。	○	
		12	みどりのカーテンづくり	公園みどり推進課			●	●	●	●	●	●	市民との協働で行う豊中みどりの交流会により、小学校、こども園や授産施設等でみどりのカーテンづくり(ゴーヤの栽培)の取組みを支援しています。収穫したゴーヤは、小学校等において、食育として活用されています。	小 学 校 32 校 こども園・授産施設等 34 施設	みどりのカーテンづくりに取り組む小学校等の数が高水準で推移しており、着実に緑化啓発や食育が推進されています。	○
		13	緑と食品のリサイクルプラザ見学対応	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか		●	●	●	●	●	●	●	(アジェンダ 2 1 により指定管理者事業として実施) 見学者に対する有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。	23 回、565 人	農体験を含めた施設見学は、多方面からの安定した需要がある一方で、学校からの見学者は例年、ほぼ同じ小学校の児童となっているため、他の小学校や教育機関への広報が課題となっています。	○
		14	堆肥化講習会	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか				●		●	●	●	(アジェンダ 2 1 により指定管理者事業として実施) 家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制、家庭菜園での堆肥活用を推進しています。	11 回、116 人	定期的に開催しているため、各回の参加者は少人数となっていますが、安定した参加数があります。個別に詳しい説明や助言等をすることができ、好評を得ています。	○
		15	栽培講習会	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか							●	●	●	(アジェンダ 2 1 により指定管理者事業として実施) 有機性資源を活用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。	4 回、89 人	堆肥「とよっぴー」を活用した減農薬・有機性資源栽培の講座等を実施することにより、食への関心を高め、自産自消を推進することができています。
16	講座型環境学習	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか				●						(アジェンダ 2 1 により指定管理者事業として実施) 希望する小学校等に出向いて、主に 4 年生・5 年生を対象に、生ごみの発生抑制や資源循環を推進するため、米づくり・食品ごみ・地産地消等をテーマに講座を実施しています。	35 回、2,637 人	資源循環に対する関心の高まりに伴い、米づくりなどの学校菜園活動に取り組む小学校が増加しており、講座型環境学習も継続的に実施されています。	○	

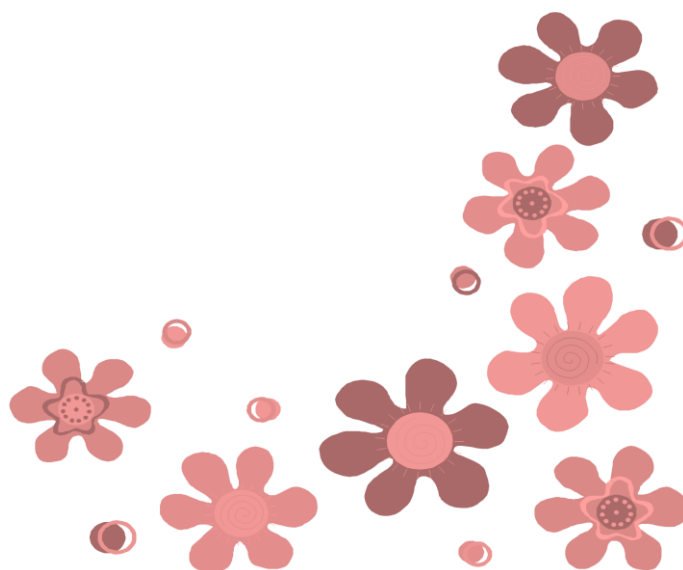
基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
IV 食 食べるもの、食べることを大切にしよう	b 環境教育・環境学習の促進	17	農体験学習	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか			●	●		●	●		(アジェンダ 21 により指定管理者事業として実施) ①希望する小学校等に出向いて、主に 4 年生・5 年生を対象に、野菜の植え付け・収穫、お米づくりなどの農体験学習を実施しています。 ②親子や児童・生徒等に対し、「とよっぴー農園」において、野菜の植え付け・収穫等の農体験学習を実施しています。	①農体験学習（小学校等）；28 回、2,266 人 ②農体験学習（とよっぴー農園）；16 回、535 人	児童を対象とした農体験学習は安定した需要があり、親子を対象としたシリーズ制の収穫イベントなどについても、都市部で農業を学べるという点から好評を得ています。	○
		18	とよっぴー祭り	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか		●	●	●	●	●	●	●	豊中産もち米を使用した餅つきや、とよっぴー農園でのいも掘り体験など、食と資源循環について楽しく学べる様々なイベントを実施しています。	1,468 人	毎年、多くの来場者があり、子どもから大人まで楽しめる内容となっています。資源循環について学ぶための良い契機になっていると考えられます。	○
		19	とよっぴー展	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか			●	●	●	●	●	●	堆肥「とよっぴー」の製造に関するパネル展示や、粃すり機等の農機具、給食の食べ残しなどのパンの実物展示等をしています。	650 人	普段は目にする事のない給食の食べ残しなどの実物展示や「とよっぴー」の試供品の配布等を実施し、資源循環の重要性について考えていただく工夫をしています。市役所の市民ロビーで開催することで、気軽に立ち寄っていただくことができ、広く啓発活動ができています。	○
		20	とよっぴー倶楽部	NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか						●	●	●	(団体自主事業) 市の堆肥化事業の市民応援団を組織し、有機性資源の活用を推進しています。年会費 1,000 円で、主に堆肥「とよっぴー」の頒布日に受け付けています。また、年 4 回のニュースレターを発行・郵送しています。	会員数：62 人		○
		21	生ごみ堆肥化容器等助成	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか						●	●	●	家庭での生ごみの堆肥化活動を支援するため、堆肥化資材の提供や、容器等の購入費の助成等をしています。	ダンボール資材：20 件 密閉バケツ：2 件 コンポスト：1 件 電動処理機：5 件	手軽に始められるダンボール箱での堆肥づくりを中心とした家庭における堆肥化の取り組みに対して、継続的な活動支援ができています。	○

基本方針	事業等	所管	新規*	妊娠 期	幼年 期	少年 期	青年 期	壮年 期	中年 期	高年 期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の 方向性	
基本目標Ⅳ 食育の推進 にこりちゃん の食育を太	c 地産地消の推進	5 桜井谷あおぞら朝市		●	●	●	●	●	●	●	(団体自主事業) 桜井谷地域を中心にした地場野菜等を販売する朝市を毎月第 1,3 土曜日（7 月、8 月は毎週）午前 9 時（夏期は 8 時半）から JA 大阪北部桜井谷支店駐車場で開催しています。	3 0 回開催 毎月、1 日（ついたち）稲荷神社でも実施しました。	地産地消の推進として十分に成果はあがっています。	○	
	Ⅴ 歯や口の健康を維持・増進しよう a 歯科疾患の予防	1 ①「にこりちゃん歯科健診」 ②「パパ・ママ歯科相談」	健康増進課			●		●	●		1 歳 6 か月児健診の結果ハリカと判定された幼児とその保護者を対象に、個別相談や健診を、3 会場で実施しています。	①「にこりちゃん歯科健診」22 回 539 人 ②「パパ・ママ歯科相談」22 回 167 人	食育推進の目標に沿った指導・助言を行っています。	○	
		2 歯科健診時の保健指導	健康増進課			●		●	●		歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行っています。	歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行いました。	食育推進の目標に沿った指導・助言を行っています。	○	
		3 歯科健診の実施	こども事業課, 学校教育課			●	●	●				虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	年 1 回全園児、児童、生徒実施	虫歯予防を含め歯の健康に対して、子ども・保護者ともに関心が高く、子どもの齲歯は少なくなってきました。良い食生活は歯磨きと共に虫歯予防に大切で今後も啓発を続けることで健康増進につなげたいと考えます。	○
			豊中市私立幼稚園連 合会加盟幼稚園			●	●	●				虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	同左。	歯科疾患の予防につながりました。	◎
4 歯みがき指導	豊中市民間保育園連 合会加盟保育園、市 立認定こども園・各 保育所、豊中市私立 幼稚園連合会加盟幼 稚園				●					昼食やおやつの後に行う年齢に応じた歯みがき指導を行っています。	同左。	家庭でも歯みがきが習慣づきます。	◎		
5 歯科健診、歯磨き指導	あゆみ学園、しいの 学園				●						①歯科健診 ②歯科衛生士による歯磨き指導 ③保護者への講話、相談対応 ④給食後の歯磨き ⑤保育の中での歯磨き指導	①あゆみ学園 1 回、しいの実学園 2 回 ②しいの実学園 1 回 ③随時実施 ④毎日実施 ⑤随時実施	個々の口腔機能や、口の中の感覚、歯磨きの好き嫌い等を配慮した上で実施することができました。毎日の歯磨きを習慣づけることをはじめ、歯や口の健康づくりにつながっていると考えます。	○	

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性
V	a 歯科疾患の予防	6	お口の健康づくり講習会の普及	老人クラブ連合会									● (団体自主事業) お口の健康づくり「ごっくん・にっこり体操」の普及のため DVD の配布	単位老人クラブにて実施している	今後、普及に努めていきたい	○
		7	歯の保健巡回指導	(一社)豊中市歯科医師会、 豊中市学校歯科医会				●					児童が歯の健康に関する知識と関心を持ち、歯の健康の維持と病気の予防を実践できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2 年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	歯科衛生士専門学校 5 校により、23 校にて実施。	今後も引き続き実施していきたい。	○
		8	幼稚園・保育所歯磨指導	(一社)豊中市歯科医師会			●						ライオン歯科衛生研究所のご協力のもと、豊中市内の幼稚園、保育所で歯磨指導を実施しています。	26 年度をもって廃止		—
	b 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	1	マタニティママのデンタル教室	健康増進課		●							妊婦を対象に、歯科衛生士による妊娠期からのお口の健康づくりの話や、歯みがきとデンタルフロスの実習を行っています。	年 11 回 88 人	内容を見直し、新しいクラスとして継続していきます。	○
		2	すくすくよい歯の教室	健康増進課			●						乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話・健診)。3 会場で実施しています 予約制。13 年度より内容を見直し、1 回 2 日制に変更しましたが。15 年度より、内容を維持しつつ、受講者の利便性を考え、1 回 1 日制に変更しました。	年 29 回 701 人	対象や内容を見直しながら、継続していきます。	○
		3	保育施設との協働企画幼児の食育を支える歯や口の健康づくりの取り組み	健康増進課			●						保育園(所)・幼稚園と協働し、職員への情報提供(研修会の開催、指導用資料等の配布)を実施。(食育推進協議会協力)	27 年度は実施しておりません。		○

基本目標	基本方針	事業等		所管	新規*	妊娠期	幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	内容	27 年度実施状況	評価・考察	今後の方向性	
Ⅴ 歯や口の健康を維持・増進しよう	b 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	4	いきいきシニアのためのお口の健康づくりハンドブック	健康増進課						●	●	●	歯や口の健康づくりについて、介護予防を中心におおむね壮中高年期を対象に情報提供と普及啓発をおこないます。	高年期を中心とした地域教育活動で活用。 介護予防事業である『健康カレッジ』で受講者に配布。 作成から 5 年が経過したため内容を見直し「歯や口の健康づくりハンドブック」として主に壮・中・高年期に向けて改訂した。	ハンドブックや DVD の提供希望も多数あり。高齢者を中心とした効果的な啓発となっています。	◎	
		5	親子でかむかむクッキング	健康増進課			●		●	●				よく噛んで食べるための話と親子での調理実習	1 回 31 人	幼年期のこども及び保護者に噛むことの重要性を伝え、親子で調理する機会を提供できました。	○
		6	よい歯の集い	(一社)豊中市歯科医師会、 豊中市学校歯科医会		●	●	●	●	●	●	●		口腔衛生の啓発を目的に、歯と口の健康週間（6 月 4 日～10 日）にちなんで、小学校を会場に、啓発イベント、学校歯科医による講演、歯科医を講師とする特別授業参観等を実施。	緑地小学校で開催。 総来場者数 1,751 人。	さらなる口腔保健衛生啓発に努力していきたい。	○
		7	よい歯の高齢者 8020 表彰	(一社)豊中市歯科医師会								●		80 才以上で 20 本以上歯のある市民を対象に公募。アクア文化ホールにて受賞者を一同に会し表彰式を開催しています。	受賞者 227 名	今年度も多数のご応募を頂き、8020 運動がひろく市民にひろまっていることを実感できた。	○
		8	よい歯のコンクール	(一社)豊中市歯科医師会			●							大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会を健康増進課と協力し、3 歳半健診を受診した幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。	豊中市医療保健センターにて豊中市地区 2 次審査を行った。	3 組が全大阪大会に出場された。	○
		9	豊中市民健康展	(一社)豊中市歯科医師会		●	●	●	●	●	●	●		豊中市医師会・薬剤師会とともに主催。歯科ブースでは歯科健診、歯磨指導、フッ素塗布などを実施しています。	歯科ブースでの総のべ来場者数は 1,578 名。	さらなる口腔保健衛生啓発に努力していきたい。	○

Ⅲ. その他（食育関連の情報提供等）



食育推進貸出グッズ一覧

貸し出しを希望される方は、保健医療課 栄養士（6152-7309）へお問い合わせください。
使用目的によっては、貸し出しをお断りする場合があります。ご了承ください。

グッズ名、(所管)	概要
食育のぼり・旗 (保健医療課)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズの入ったのぼりと旗。  旗：5枚、ひもつき (縦約 90cm×横約 160cm)  のぼり ：50本 ポールつき (縦約 150cm ×横約 45cm)
食育ジャンパー (保健医療課)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズの入ったジャンパー（50枚）（色：ピンク、素材：ナイロン） イベント等で、スタッフジャンパーとしてお使いください。  背面  前面
豊中市食育推進計画 パネル (保健医療課)	食育推進計画概要版（B3,カラー）12枚1組   ＊第2期豊中市食育推進計画の概要がわかるパネルです。イベントや講座のときの展示用です。

グッズ名、(所管)	概要
お口の健康づくりパネルシアター (健康増進課)	『にこりちゃんとぴかりくんの大冒険』 *「カムカムの街」や「おやつの街」などいろいろな街を通りにこりちゃんとぴかりくんが探検をして学びながら、丈夫な歯を持つ元気な子どもの国に向かって進んでいくストーリーです。 ・パネルシアター絵人形 ・パネルシアターステージ ・台本 ・演じ方DVD ※「にこりちゃん・ぴかりくんの大冒険」作成希望の方もご連絡ください。
そのまんま料理カード (健康増進課)	・ちょっぴりごちそう編 ・食事バランスガイド編 ・3皿でバイキング編 ・菓子飲み物カード (群羊社) *実物大の料理カードです。重たくないので、持ち運びしやすいです。料理を例示しながらお話しするときに使っています。
食事バランスガイド掛け図 (健康増進課)	縦約100cm ×横約120cm 布タイプ *バランスガイドについて説明するときに使います。大きいサイズなので、講義のときなどに使うことができます。巻いて持ち運びすることができます。

グッズ名、(所管)	概要
食育エプロン (健康増進課)	エプロンシアター 「早ね早おき朝ごはん」 ～生活習慣からはじめる食育～ 演じ方 DVD 付 (メイト)  「味覚を育てる食育エプロン」 ～味覚・歯と口の衛生～ (メイト) おいしく楽しく食べる ためのお口の健康づく りについてのお話です  *エプロンのポケットから色々なものを取り出して、エプロンにはりつけたりしながら話します。一人で劇のように演じることができます。幼児向けのお話に向いています。
まめつまみセット (健康増進課)	セットの内容 (6 セット) ・ 塗箸 1 ・ 割り箸 1 ・ 器 4 ・ 小豆 30g ・ 大豆 30g ・ スーパーボール 25 個 セットの他に、・キッチンタイマー 2 個 *まめつまみゲームができます。豆などを箸で器から器にうつし、制限時間内に何個うつすことができたかをみるゲームです。盛り上がること間違いなし！ 
私たちのからだをつくる食べ物のはなし (健康増進課)	パワーポイント資料 * 3 色栄養などについて学ぶことができます。小学校高学年向け、4 5 分くらいの講座に使えるシナリオつき。アニメーションを多用しているので、楽しく講座ができます。CD-ROM でお貸ししますので、全部または一部コピーして使ってください。 

グッズ名、(所管)	概要
お口の体操人形けいすけ君 (健康増進課)	・ 取り外せる歯や動く舌がついている人形です。  * 舌や口唇の体操などを指導する際に使います。
顎模型と歯ブラシ模型 (健康増進課)	・ 20×15×15cm プラスチックの顎模型 ・ 23cm プラスチックの歯ブラシ模型  * 歯磨き指導の時に使います。
口腔内カメラ (健康増進課)	小さなカメラをお口の中に入れ、9インチ程度のモニターでお口の中の状態を見ることができます。 (3台) 
よい歯のつどいカルタ (健康増進課)	B4サイズラミネート 読み札 50枚、取り札 50枚  * 平成21年度に庄内西小学校で行われた「よい歯のつどい」に展示された庄内西小学生作のカルタです。 ひらがなの読めない子どもでも取れるように、読み札の裏側に取り札と同じ絵を印刷しています。
はてなボックス (学校給食課)	* クイズをしながら食育カードを入れると?ボックスの中でくるとひっくり返り、答えが出てきます。 

グッズ名、(所管)	概要
紙芝居 (学校給食課)	* 紙芝居 A2 サイズの手づくり紙芝居 15 種類あります。  けんいち君とまさお君のふたごの兄弟が、お皿ののって野菜の国へ行きました。 そこで人参君や玉ねぎ君の話を聞き、今まで野菜が嫌いによくカゼをひいていたまさお君も、がんばってたべるようになり元気になりました。 ・ 太郎君のむし歯 ・ 牛乳のおはなし ・ 食べもの大行進 ・ はな子さんの運動会 ・ ケンちゃんのぼうけん ・ ステップ ララちゃん ・ 牛乳をのもう ・ なんでも博士のロボット ・ 行こう！栄養の国へ ・ 楽しい給食 ・ まほうのサラスケ君 ・ みんな なかよし ・ 王子様の旅 ・ 栄養ってなあに？ ・ あさごはんを食べよう
とよっぴー (豊肥) (公園みどり推進課)	2.5kg・3kg (イラスト入り袋) 10kg (透明袋) * 「食の循環」に関する環境教育 (食育) 授業などに使うことができます。 
緑化用バーク (公園みどり推進課)	「剪定枝チップ」に少量の「とよっぴー」を混合してたい肥にしたもので、菜園・花壇等の土壌改良材として使用できます。 公益活動を目的とする団体が所有・管理する施設や、公共団体が設置・管理する施設等に年間計画に基づき配付します。 

グッズ名、(所管)	概要
食育推進のための安全安心ハンドブックⅡ(冊子, パネル) (保健医療課)	食中毒を予防して安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。 地域のお祭りや、イベントなどで模擬店をしたり、調理実習をするときなどに活用していただくため配布します。 (配布数は応相談) ↑ ハンドブックパネル (B3,カラー) 20 枚 1 組 手洗いの方法、調理器具の洗い方など、必要な部分だけ掲示することも可能です。
消費者協会食育パネル (とよなか消費者協会)	・なにわの伝統野菜って? (B1 サイズパネル 2 枚) ・大阪特産物カード (A 3 サイズ 22 枚) ・地産地消の推進 (A 1 サイズパネル 1 枚) ・大阪エコ農産物とは (A2 サイズパネル 1 枚) ・なにわの伝統野菜について (A2 サイズパネル 1 枚) ・日本各地の郷土料理 (A 3 サイズ) なにわの伝統野菜って? → 地産地消の推進→ 日本各地の郷土料理 ↑ 大阪特産物カード ↑ * イベント等で展示することができます。

グッズ名、(所管)	概要
我が家の料理レシピパネル (とよなか消費者協会)	A 3 サイズラミネート 5 3 枚 * とよなか消費者協会会員が我が家の自慢の料理を持ちよって試食し、写真とレシピをパネルにしました。イベント等で展示することができます。 
お口の健康づくりハンドブックパネル (とよなか消費者協会)	A 3 サイズラミネート 2 4 枚 * お口の健康づくりハンドブックをパネルにしました。イベント等で掲示することができます。 お口の健康体操や、食べやすくする調理の工夫などが載っています。 
まるごとおいしい食育推進ハンドブックパネル (とよなか消費者協会)	A 3 サイズラミネート 2 4 枚 * まるごとおいしい食育推進ハンドブックをパネルにしました。イベント等で掲示することができます。季節ごとのメニュー、お手軽料理、豊中市内の食育実践のヒントなどが載っています。 
手洗いチェッカー (衛生管理課)	専用のローションを手に刷り込み、通常の手洗いを行います。 洗った手をブラックライトにかざすと、洗い残した部分が白く浮かび上がります。  汚れの残りやすい箇所を目で見えて知ること、楽しみながら正しい手洗いの方法が学べます。

グッズ名、(所管)	概要
フードモデル (保健医療課)	実物大の食玩。食品の中に含まれる砂糖・油・塩の量が目で見て分かります。とても軽いので、持ち運びも容易です。 ①砂糖に気を付けようシリーズ (3種類) …缶コーラ、缶コーヒー(加糖)、オレンジジュース 砂糖や油の量が一目瞭然！ ②油に気を付けようシリーズ (3種類) …ポテトチップス、チョコレート、クロワッサン ③塩に気を付けようシリーズ (3種類) …インスタントヌードル、フライドポテト、ハンバーガー 表示カードはこども向けと大人向けがあり、裏返せば対象年齢に合わせた内容になります。

グッズ名、(所管)	概要
パソコン・プロジェクターほか (保健医療課)	・ ノートパソコン(東芝 dynabook) ・ OS : Windows8.1 ※タッチパネル非対応 ・ Microsoft Office Home and Business 2013 搭載 (Word / Excel / Powerpoint / OneNote 使用可) ・ 光学ドライブ内臓 ・ 小型プロジェクター(エプソン) ※スピーカー機能付き ・ 80 型スクリーン(持ち運び可能) ・ 各種ケーブル(HDMI ケーブル、オーディオケーブル) ・ レーザーポインタ 5 点 1 セットで、キャリーケースに入れて貸し出します。 * 食育関係であれば広く貸し出しが可能ですので、研修会等の開催時にご活用ください。 * これらの物品は、大阪ガスグループ “小さな灯” 運動北東部支部様よりご寄付いただきました。

平成 27 年度（2015 年度）豊中市食育推進計画年次報告書

平成 28 年（2016 年）12 月

豊中市 健康福祉部 保健所 保健医療課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6152-7309 FAX 06-6152-7328